

令和 2 年度(第 83 回)通常総会資料

日時 令和 2 年 2 月 19 日(水曜日) 10:30～11:45
 場所 東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
 如水会館 2 階 オリオンルーム

頁

【監査報告】			1
【平成 31 年(令和元年)度の総括と令和 2 年度の目標】			2
【決議事項】			
第 1 号議案	平成 31 年度決算報告承認の件	定款第 39 条の 1 および 2	3
第 2 号議案	令和 2 年度役員選任の件	定款第 23 条	10
第 3 号議案	名誉会員委嘱の件	定款第 5 条の 5	11
【報告事項】			
報告 1	平成 31 年度事業報告	定款第 39 条の 1 および 2	12
	1. 平成 31 年度通常総会報告		12
	2. 会員動向報告		12
	3. 事業報告(公 1:編集出版事業)		14
	4. 事業報告(公 2:研究会事業)		14
	5. 事業報告(公 3:表彰事業)		24
	6. 事業報告(他 1:共益事業)		26
報告 2	令和 2 年度事業計画	定款第 38 条の 2	29
報告 3	令和 2 年度収支予算	定款第 38 条の 2	32
報告 4	永年会員昇格者	定款第 5 条の 4	35
【参考資料】	(付表 1) 平成 31 年度一般正味財産の構成表		36



公益社団法人 有機合成化学協会

令和 2 年 2 月 19 日

担当者	事務局長	会 長

【監査報告】

監査報告書

私たち監事は、平成31年1月1日から平成31年12月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和2年1月21日

公益社団法人有機合成化学協会

監事 岩澤 伸治

岩澤 伸治 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 辻 尚志

辻 尚志 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 山川 一義

山川 一義 

以上

平成 31 年(令和元年)度の総括と令和 2 年度の目標

平成 31 年度における各事業の概要、法人管理・運営状況と令和 2 年度の目標について説明する。

【平成 31 年度の課題と取り組み】

本会の持続的な発展を目指し、事業価値の向上、会員サービスの強化および適切な情報発信を行っている。本年度もこの命題の達成のために以下の取り組みを行った。

先ず、昨年度創設した「AIと有機合成化学」研究部会に加えて、今年度は更に、バイオ関連技術との連携を深めるため「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会を立ち上げた。初年度から多くの申込みがあり、本分野への関心の高さを確認した。両事業の推進で、研究部会の内容は更に充実したものとなり、研究会事業の柱の一つとして事業価値の向上と収益の改善に貢献した。

一方、有機合成化学講習会は、会員割引制度を終了したにもかかわらず収益が減少し、来年度以降の進め方につき事業委員会で議論を行っている。

また、会費収入の低下は今年も続いており、特に法人会員の動向は今後も注視していきたい。令和 2 年度からは学生会員には新たに web 会員を設けて会費負担の軽減と利便性を図ることを決定した。

本会の活動領域を広げ充実化を図るため、他の学会との連携の可能性を検討することも中長期の課題の一つである。今年度は日本プロセス化学会と協議を行い、編集事業で補完することに合意し、来年度から実施する。なお、研究会事業での連携は引き続き協議する。

また、会員サービス強化の一環として新規会員管理システム(クラウド型)の導入を検討し、理事会の承認が得られたことから、令和 2 年 9 月の導入を目指して作業する。会費の支払い方法の多様化および会員データへのアクセスが可能となる。

最後に、本会は令和 4 年に 80 周年を迎えることから、分科会として 80 周年記念事業準備委員会を立ち上げ対応を検討した。この結果、80 周年記念事業委員会を発足することが承認されたので来年度から本格的な検討に入る予定である。

【編集・出版事業】

有機合成化学協会誌は予定通り 12 号を刊行した。5 月特集号「ラジカル種の利用最前線-合成・物理・理論」をテーマに、ラジカルを活用する合成戦略を紹介した。

また、出版事業としては、令和 2 年中の発行を目標に「現代有機合成のための触媒反応(仮)」(東京化学同人)の準備を進めている。

【研究会事業】

新規事業として、「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会をスタートさせた。多くの法人・個人の登録があり、部会員への更なるサービス提供を図る基盤ができた。

また、東海支部主催の第 36 回有機合成化学セミナー(岐阜)では、多数の参加があり、充実したプログラムに加え、産学の有意義な交流の場を提供した。

【表彰事業】

平成 31 年度も、本会の表彰が全て揃い、内容的にも非常に高いレベルを維持した。本会の 3 賞、企業の寄付に基づく高砂香料国際賞「野依賞」と研究企画賞、および Mukaiyama Award は例年通り実施した。また、企業冠賞はカネカ賞を新たに加えた 5 賞となった。

【相互交流】

新春フォーラム、YUGOKAFé、ゆうごう会および有機合成化学セミナー等は、会員間の情報交換・交流の場を提供しており本会活動の重要なプラットフォームとなっている。

【財務環境】

平成 31 年度は、収益 133.5 百万円、費用 132.9 百万円、収支 0.6 百万円となったが、前年度比で収益は減少した。

【令和 2 年度目標】

本会の持続的な発展に必要な施策に引き続き取り組んで行きたい。研究会事業では有機合成化学講習会等の既存の事業で見直しが必要なものは、その背景を探り抜本的な改善を加えたい。

また、会費収入、研究会事業収益および広告収入の減少は今後の運営を圧迫する可能性があり対策が必要となっている。

会員サービスの強化では、新規会員管理システムの運用開始や HP による迅速な情報発信で会員の利便性の向上に努めたい。

本部と支部の連携による本会の効率的運営も求められており協議の機会を探りたい。

令和 2 年度は、厳しい財務状況が予想されることから、本会の改善策の検討も含め、本会の価値の向上と会員サービス強化に引き続き努力する決意である。

【決議事項】

第1号議案 平成31年度決算報告承認の件

定款39条に定めるところにより、p.3～9に示す諸表のとおり平成31年度決算書類を承認する。

表1・1 平成31年度正味財産増減計算書

(平成31年1月1日から平成31年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	H31決算 A	H31予算 B	H30決算 C	A-B	A-C
【一般正味財産増減の部】					
1. 経常増減の部					
経常収益	133,521,441	139,204,665	137,778,404	▲ 5,683,224	▲ 4,256,963
特定資産運用益					
特定資産受取利息	804,273	769,000	814,635	35,273	▲ 10,362
退職特定資産受取利息	3,091	3,500	2,791	▲ 409	300
受取会費					
正会員費受取会費	68,145,474	68,364,900	69,363,000	▲ 219,426	▲ 1,217,526
事業収益	52,605,026	58,444,000	56,738,469	▲ 5,838,974	▲ 4,133,443
編集出版事業収益	12,687,477	13,748,000	14,038,312	▲ 1,060,523	▲ 1,350,835
研究会事業収益	33,217,549	37,946,000	34,600,157	▲ 4,728,451	▲ 1,382,608
表彰事業収益	6,700,000	6,750,000	8,100,000	▲ 50,000	▲ 1,400,000
受取寄付金	7,347,319	6,690,000	6,510,347	657,319	836,972
共催分担保	1,990,000	1,090,000	1,941,000	900,000	49,000
国際賞基金	3,760,267	4,000,000	2,923,959	▲ 239,733	836,308
Mukaiyama Award基金	1,597,052	1,600,000	1,645,388	▲ 2,948	▲ 48,336
雑収益	4,616,258	4,933,265	4,349,162	▲ 317,007	267,096
受取利息	858	3,265	834	▲ 2,407	24
雑収益	54,000	220,000	99,828	▲ 166,000	▲ 45,828
懇親会参加料収益	4,561,400	4,710,000	4,248,500	▲ 148,600	312,900
経常費用	132,885,469	143,337,471	137,208,138	▲ 10,452,002	▲ 4,322,669
事業費および管理費	132,885,469	143,337,471	137,208,138	▲ 10,452,002	▲ 4,322,669
編集出版事業費	25,735,967	26,715,231	27,140,641	▲ 979,264	▲ 1,404,674
研究会事業費	27,712,323	34,876,987	28,429,072	▲ 7,164,664	▲ 716,749
表彰事業費	12,180,096	13,315,157	12,871,186	▲ 1,135,061	▲ 691,090
給料手当	29,636,135	29,697,333	29,174,991	▲ 61,198	461,144
アルバイト費	2,464,999	2,470,000	2,442,500	▲ 5,001	22,499
退職給付費用	2,803,091	2,800,000	3,002,791	3,091	▲ 199,700
その他人件費（福利厚生費）	5,923,593	6,030,000	5,662,818	▲ 106,407	260,775
懇親会費	7,578,591	7,960,000	8,184,436	▲ 381,409	▲ 605,845
会議費	920,834	1,335,000	881,991	▲ 414,166	38,843
旅費交通費	3,914,758	3,755,000	3,881,676	159,758	33,082
通信費	1,228,437	1,346,000	1,167,776	▲ 117,563	60,661
什器備品費	842,760	500,000	207,593	342,760	635,167
事務用品・リース費	1,924,117	2,000,000	1,978,596	▲ 75,883	▲ 54,479
水道光熱費	209,665	290,000	214,790	▲ 80,335	▲ 5,125
事務所賃借料	4,387,740	4,432,263	4,367,520	▲ 44,523	20,220
諸謝金	1,210,000	1,200,000	1,197,180	10,000	12,820
雑費（税・手数料・会費・IT）	4,212,363	4,614,500	6,402,581	▲ 402,137	▲ 2,190,218
当期経常増減額	635,972	▲ 4,132,806	570,266	4,768,778	65,706
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額					
一般正味財産期首残高	304,061,220	304,061,220	303,490,954	0	570,266
一般正味財産期末残高	304,697,192	299,928,414	304,061,220	4,768,778	635,972
【指定正味財産増減の部】					
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金					
特定資産運用益計	4,000,039	4,000,400	4,000,034	▲ 361	5
特定資産受取利息	39	400	34	▲ 361	5
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 3,760,267	▲ 4,000,000	▲ 2,923,959	239,733	▲ 836,308
当期指定正味財産増減額	239,772	400	1,076,075	239,372	▲ 836,303
指定正味財産期首残高	6,047,288	6,047,288	4,971,213	0	1,076,075
指定正味財産期末残高	6,287,060	6,047,688	6,047,288	239,372	239,772
2. Mukaiyama Award基金					
特定資産運用益計	91	1,000	105	▲ 909	▲ 14
特定資産受取利息	91	1,000	105	▲ 909	▲ 14
受取寄付金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 1,597,052	▲ 1,600,000	▲ 1,645,388	2,948	48,336
当期指定正味財産増減額	▲ 1,596,961	▲ 1,599,000	▲ 1,645,283	2,039	48,322
指定正味財産期首残高	8,858,603	8,858,603	10,503,886	0	▲ 1,645,283
指定正味財産期末残高	7,261,642	7,259,603	8,858,603	2,039	▲ 1,596,961
【正味財産】					
正味財産期末残高	318,245,894	313,235,705	318,967,111	5,010,189	▲ 721,217

表 1・2 平成 31 年度正味財産増減内訳表(1/3)

(平成31年1月1日から平成31年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
1. 経常増減の部							
経常収益計	12,689,499	35,006,093	11,757,026	53,834,925	3,348,364	16,885,534	133,521,441
特定資産運用益	2,022	2,544	799,707				804,273
編集出版特定資産受取利息	2,022						
研究会特定資産受取利息		2,544					
表彰特定資産受取利息			799,707				
退職特定資産受取利息						3,091	3,091
受取会費				53,834,925	2,044,364	12,266,185	68,145,474
個人会員費受取会費				27,855,795	1,057,815	6,346,890	35,260,500
法人会員費受取会費				23,561,730	894,749	5,368,495	29,824,974
団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
学生会員費受取会費				2,291,000	87,000	522,000	2,900,000
事業収益	12,687,477	33,013,549	5,600,000		1,304,000		52,605,026
編集出版事業収益	12,687,477						12,687,477
会誌事業収益	3,994,800						3,994,800
広告事業収益	8,221,690						8,221,690
別冊事業収益	15,300						15,300
会誌関係雑収益	24,000						24,000
単行本印税収益	180,369						180,369
複写権使用料収益	251,318						251,318
研究会事業収益		33,013,549			204,000		33,217,549
シンポジウム事業収益		17,096,960					17,096,960
講習会事業収益		11,206,840					11,206,840
懇談会事業収益		4,709,749			204,000		4,913,749
見学会事業収益							
表彰事業収益			5,600,000		1,100,000		6,700,000
企業冠賞事業収益			5,600,000				5,600,000
研究企画賞事業収益					1,100,000		1,100,000
その他表彰事業収益							
寄付金収益		1,990,000	5,357,319				7,347,319
受取寄付金		1,990,000	5,357,319				7,347,319
雑収益						4,616,258	4,616,258
受取利息						858	858
雑収益						54,000	54,000
懇親会参加料収益						4,561,400	4,561,400

表 1・3 平成 31 年度正味財産増減内訳表(2/3)

(平成31年1月1日から平成31年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
経常費用	44,633,472	50,685,225	17,714,222	0	3,133,945	16,718,605	132,885,469
事業費	44,633,472	50,685,225	17,714,222		3,133,945		116,166,864
編集出版事業費	25,735,967						25,735,967
印刷製本費	11,752,942						11,752,942
用紙費	3,836,315						3,836,315
原稿料・校正費	610,000						610,000
編集費	615,806						615,806
送達費	7,756,412						7,756,412
別冊作成費	229,499						229,499
電子出版費	934,993						934,993
研究会事業費		27,472,714			239,609		27,712,323
シンポジウム費		15,415,812					15,415,812
講習会費		5,648,321					5,648,321
懇談会費		3,414,836			239,609		3,654,445
見学会事業費							
研究会議費		171,743					171,743
事務委託費		2,567,002					2,567,002
支払寄付金		255,000					255,000
表彰事業費			12,099,399		80,697		12,180,096
表彰事業費			2,058,289				2,058,289
企業冠賞費用			4,683,791				4,683,791
研究企画賞費					80,697		80,697
国際賞費用			3,760,267				3,760,267
Mukaiyama Award事業費			1,597,052				1,597,052
給料手当	10,370,279	11,853,272	2,963,318		1,485,660		26,672,529
アルバイト費	958,392	1,095,446	273,861		137,300		2,464,999
退職給付費用	980,858	1,121,125	280,281		140,519		2,522,783
その他人件費（福利厚生費）	2,072,786	2,369,204	592,300		296,950		5,331,240
会議費	150,026	225,060	50,009		25,027		450,122
旅費交通費	651,916	977,973	217,305		108,750		1,955,944
通信費	338,809	508,265	112,936		56,519		1,016,529
什器備品費	252,803	379,241	84,268		42,172		758,484
事務用品・リース費	577,179	865,856	192,393		96,283		1,731,711
水道光熱費	62,895	94,352	20,965		10,492		188,704
事務所賃借料	1,316,190	1,974,483	438,730		219,563		3,948,966
雑費（税・手数料・会費・IT）	1,165,372	1,748,234	388,457		194,404		3,496,467

表 1・4 平成 31 年度正味財産増減内訳表(3/3)

(平成31年1月1日から平成31年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公 1・編集・出版	公 2・研究会	公 3・表彰	公益事業共通			
管理費						16,718,605	16,718,605
給料手当						2,963,606	2,963,606
退職給付費用						280,308	280,308
その他人件費（福利厚生費）						592,353	592,353
懇親会費用						7,578,591	7,578,591
会議費						470,712	470,712
旅費交通費						1,958,814	1,958,814
通信費						211,908	211,908
什器備品費						84,276	84,276
事務用品・リース費						192,406	192,406
水道光熱費						20,961	20,961
事務所賃借料						438,774	438,774
諸謝金						1,210,000	1,210,000
雑費（税・手数料・会費・IT）						715,896	715,896
当期経常増減額	▲ 31,943,973	▲ 15,679,132	▲ 5,957,196	53,834,925	214,419	166,929	635,972
2. 経常外増減の部							
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額							
一般正味財産期首残高							304,061,220
一般正味財産期末残高							304,697,192
当期一般正味財産増減額							635,972
【指定正味財産増減の部】							
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
指定正味財産運用益			239,772				239,772
特定資産受取利息			39				39
受取寄付金			4,000,000				4,000,000
一般正味財産への振替額			▲ 3,760,267				▲ 3,760,267
指定正味財産期首残高			6,047,288				6,047,288
指定正味財産期末残高			6,287,060				6,287,060
2. Mukaiyama Award基金							
指定正味財産運用益			▲ 1,596,961				▲ 1,596,961
特定資産受取利息			91				91
受取寄付金							
一般正味財産への振替額			▲ 1,597,052				▲ 1,597,052
指定正味財産期首残高			8,858,603				8,858,603
指定正味財産期末残高			7,261,642				7,261,642
【正味財産期末残高】							
正味財産期末残高							318,245,894

【参考】

表 1・5 主な科目の対予算・対前年度決算比較

科 目		31 年度予算との差額(千円)		30 年度決算との差額(千円)	
		収益	費用	収益	費用
受取会費収入		▲219	—	▲1,218	—
事業	編集・出版	▲1,061	▲979	▲1,351 ^{*2}	▲1,405
	研究会	▲2,328 ^{*1}	▲4,765 ^{*1}	▲1,383 ^{*3}	▲717
	表彰	▲50	▲1,135	▲1,400 ^{*4}	▲691
	雑費	—	▲315	—	▲1,944 ^{*5}

*1 平成 31 年度予算へ計上したが決算とは乖離のある以下のものを差し引いた。

1) 事業；研究会；海外視察団派遣事業および国内見学会事業は未実施。（収益/費用ともに 2,400 千円）

*2 協会誌販売(30 年度対決算▲162 千円)、協会誌広告(30 年度対決算▲1,121 千円)の収益減。

*3 シンポジウム(30 年度対決算▲1,095 千円)、講習会(30 年度対決算▲458 千円)の収益減。

*4 企業冠賞の賛同企業が 5 社から 4 社へ減少(平成 30 年度)。

*5 平成 30 年度ホームページリニューアル費用(2,020 千円)を含む。

表 1・6 平成 31 年度貸借対照表

平成31年12月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	100,595,230	104,327,447	▲ 3,732,217
未収収益	68,582	68,582	0
前払金	656,700	275,101	381,599
仮払金	348,675	34,496	314,179
流動資産合計	101,669,187	104,705,626	▲ 3,036,439
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
編集出版事業特定資産	24,319,028	24,317,006	2,022
研究会事業特定資産	29,518,094	29,515,550	2,544
表彰事業特定資産	201,564,079	200,764,372	799,707
国際賞基金	6,287,060	6,047,288	239,772
Mukaiyama Award基金	7,261,642	8,858,603	▲ 1,596,961
退職給付引当特定資産	24,014,892	21,211,801	2,803,091
特定資産合計	292,964,795	290,714,620	2,250,175
(2) その他固定資産			
差入保証金	4,698,000	4,698,000	0
電話加入権	127,284	127,284	0
その他固定資産合計	4,825,284	4,825,284	0
固定資産合計	297,790,079	295,539,904	2,250,175
資産合計	399,459,266	400,245,530	▲ 786,264
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	584,315	572,584	11,731
前受金	55,026,900	57,763,200	▲ 2,736,300
預り金	1,530,215	1,615,784	▲ 85,569
仮受金	57,050	115,050	▲ 58,000
流動負債合計	57,198,480	60,066,618	▲ 2,868,138
2. 固定負債			
退職給付引当金	24,014,892	21,211,801	2,803,091
固定負債合計	24,014,892	21,211,801	2,803,091
負債合計	81,213,372	81,278,419	▲ 65,047
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国際賞受託金	6,287,060	6,047,288	239,772
Mukaiyama Award基金	7,261,642	8,858,603	▲ 1,596,961
指定正味財産合計	13,548,702	14,905,891	▲ 1,357,189
(うち特定資産への充当額)	(13,548,702)	(14,905,891)	(▲1,357,189)
2. 一般正味財産	304,697,192	304,061,220	635,972
正味財産合計	318,245,894	318,967,111	▲ 721,217
負債及び正味財産合計	399,459,266	400,245,530	▲ 786,264

表 1・7 平成 31 年度貸借対照表内訳表

平成31年12月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			その他事業会計	法人会計	合計
	編集・出版事業会計	研究会事業会計	表彰事業会計			
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金					100,595,230	100,595,230
未収収益			68,582			68,582
前払金		71,613	259,047		326,040	656,700
仮払金			310,560		38,115	348,675
流動資産合計	0	71,613	638,189	0	100,959,385	101,669,187
2. 固定資産						
(1) 特定資産						
編集出版事業特定資産	24,319,028					24,319,028
研究会事業特定資産		29,518,094				29,518,094
表彰事業特定資産			201,564,079			201,564,079
国際賞基金			6,287,060			6,287,060
Mukaiyama Award 基金			7,261,642			7,261,642
退職給付引当特定資産					24,014,892	24,014,892
特定資産合計	24,319,028	29,518,094	215,112,781	0	24,014,892	292,964,795
(2) その他固定資産						
差入保証金					4,698,000	4,698,000
電話加入権					127,284	127,284
その他固定資産合計	0	0	0	0	4,825,284	4,825,284
固定資産合計	24,319,028	29,518,094	215,112,781	0	28,840,176	297,790,079
資産合計	24,319,028	29,589,707	215,750,970	0	129,799,561	399,459,266
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金					584,315	584,315
前受金					55,026,900	55,026,900
預り金					1,530,215	1,530,215
仮受金					57,050	57,050
流動負債合計	0	0	0	0	57,198,480	57,198,480
2. 固定負債						
退職給付引当金					24,014,892	24,014,892
固定負債合計	0	0	0	0	24,014,892	24,014,892
負債合計	0	0	0	0	81,213,372	81,213,372
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
国際賞受託金			6,287,060			6,287,060
Mukaiyama Award 基金			7,261,642			7,261,642
指定正味財産合計			13,548,702			13,548,702
(うち特定資産への充当額)			(13,548,702)			(13,548,702)
2. 一般正味財産	24,319,028	29,589,707	202,202,268	0	48,586,189	304,697,192
正味財産合計	24,319,028	29,589,707	215,750,970	0	48,586,189	318,245,894
負債及び正味財産合計	24,319,028	29,589,707	215,750,970	0	129,799,561	399,459,266

表 1・8 附属明細書

(単位：円)

1. 特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	編集出版事業特定資産	24,317,006	2,022	0	24,319,028
	研究会事業特定資産	29,515,550	2,544	0	29,518,094
	表彰事業特定資産	200,764,372	799,707	0	201,564,079
	国際賞基金	6,047,288	4,000,039	3,760,267	6,287,060
	Mukaiyama Award 基金	8,858,603	91	1,597,052	7,261,642
	退職給付引当特定資産	21,211,801	2,803,091	0	24,014,892
	特定資産計	290,714,620	7,607,494	5,357,319	292,964,795

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	21,211,801	2,803,091	0	0	24,014,892

表 1・9 財産目録

平成31年12月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金額 (円)
1	【流動資産】				1
2	預金	振替貯金		運転資金	1,829,290
3		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	57,451,080
4		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	3,988,922
5		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	50,001
6		普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	運転資金	2,254,221
7		普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店	運転資金	144,018
8		普通預金	北海道支部	運転資金	3,598,788
9		普通預金	東北支部	運転資金	7,840,969
10		普通預金	関東支部	運転資金	10,248,773
11		普通預金	東海支部	運転資金	3,740,906
12		普通預金	関西支部	運転資金	4,913,611
13		普通預金	中国四国支部	運転資金	1,615,874
14		普通預金	九州山口支部	運転資金	2,918,777
15	未収収益				68,582
16	前払金				656,700
18	仮払金	現金	手元保管	運転資金	348,675
19	流動資産合計				101,669,187
20	【固定資産】				20
21	特定資産				21
22	編集事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	2,091,723
23		普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	2,227,305
24		定期預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
25		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
26	研究会事業特定資産	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	4,518,094
27		定期預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	25,000,000
28	表彰事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	1,705,455
29		普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	6,858,624
30		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	3,000,000
31		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
32			第326回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	100,000,000
33			東京都公募公債第786回	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	50,000,000
34			千葉市平成29年度第3回公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
35	退職給付引当資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		5,354,892
36		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		18,660,000
37	国際賞基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	6,287,060
38	Mukaiyama Award基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	7,261,642
39	その他固定資産	差入保証金			4,698,000
40		電話加入金			127,284
41	固定資産合計				297,790,079
42	資産合計				399,459,266
43	【流動負債】				43
44	未払金				584,315
45	前受金				55,026,900
46	預り金				1,530,215
47	仮受金				57,050
48	流動負債合計				57,198,480
49	【固定負債】				49
50	退職給付引当金				24,014,892
51	固定負債合計				24,014,892
52	負債合計				81,213,372
53	正味財産				318,245,894

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に基づき一定額以下は費用処理している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンスリース：リース物件の所有権が借主に移転するを認められる以外のファイナンスリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2.特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
編集出版事業特定資産	24,317,006	2,022	0	24,319,028
研究会事業特定資産	29,515,550	2,544	0	29,518,094
表彰事業特定資産	200,764,372	799,707	0	201,564,079
国際賞基金	6,047,288	4,000,039	3,760,267	6,287,060
Mukaiyama Award 基金	8,858,603	91	1,597,052	7,261,642
退職給付引当特定資産	21,211,801	2,803,091	0	24,014,892
合 計	290,714,620	7,607,494	5,357,319	292,964,795

3.特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
編集出版事業特定資産	24,319,028	0	24,319,028	
研究会事業特定資産	29,518,094	0	29,518,094	
表彰事業特定資産	201,564,079	0	201,564,079	
国際賞基金	6,287,060	6,287,060	0	
Mukaiyama Award 基金	7,261,642	7,261,642	0	
退職給付引当特定資産	24,014,892	0	0	24,014,892
合 計	292,964,795	13,548,702	255,401,201	24,014,892

4.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	100,000,000	102,460,700	2,460,700
地方債	70,000,000	70,778,590	778,590
合 計	170,000,000	173,239,290	3,239,290

5.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
国際賞事業費計上による振替額	3,760,267
MukaiyamaAward事業費計上による振替額	1,597,052
合 計	5,357,319

第2号議案 令和2年度役員選任の件

本総会の終結をもって役員10名が退任となるので、定款23条に定めるところにより、役員候補者選出委員会において選出された役員候補者(表2)を参考にして、退任役員の後任として新任および重任役員(理事・監事；太字表記13名)を選任する。

表2 令和元年度役員および令和2年度役員候補者対照表(敬称略)

役 職 区 分	令和2年度				
	令和元年度(参考)		新任候補	重任候補	所属
	退任	留任			
会長・代表理事		諫山 滋			三井化学(株)
副会長・業務執行理事		秋山 隆彦			学習院大学
副会長・業務執行理事	砂塚 敏明		松原 誠二郎		京都大学
副会長・業務執行理事	田上 克也			満田 勝	(株)カネカ
常務理事(事務局長)		岡村 眞延			有機合成化学協会
理事(編集担当)		西川 俊夫			名古屋大学
理事(編集担当)	垣内 史敏		岩淵 好治		東北大学
理事(事業担当)		竹之内 一弥			帝人ファーマ(株)
理事(事業担当)	柳澤 章			須貝 威	慶應義塾大学
理事		草間 博之			学習院大学
理事		袖岡 幹子			理化学研究所
理事		林 亮司			東レ(株)
理事	佐用 昇		青木 一真		第一三共(株)
理事	設楽 永紀		家田 成		アステラス製薬(株)
理事			古内 剛		Meiji Seika ファルマ(株)
理事			松田 英樹		(株)クラレ
理事(北海道支部)		大熊 毅			北海道大学
理事(東北支部)	林 雄二郎		徳山 英利		東北大学
理事(関東支部)		大和田 智彦			東京大学
理事(関東支部)				生頼 一彦	日産化学(株)
理事(東海支部)		村井 利昭			岐阜大学
理事(関西支部)		西山 豊			関西大学
理事(関西支部)	大江 浩一		南方 聖司		大阪大学
理事(中国四国支部)		菅 誠治			岡山大学
理事(九州山口支部)	大嶋 孝志		友岡 克彦		九州大学
監事		岩澤 伸治			東京工業大学
監事		山川 一義			東京大学
監事	辻 尚志		田上 克也		エーザイ(株)
人 数	10	15	10	3	

第 3 号議案 名誉会員委嘱の件

定款第 5 条第 5 項および名誉会員の委嘱に係る内規 2 (2) の定めに基づき、以下の会員に名誉会員を委嘱する。本案は令和元年 12 月度理事会および令和 2 年 1 月度理事会で名誉会員としての推薦を決議した。

表 3・1 令和 2 年度名誉会員推挙候補者(敬称略;年齢順)

氏名 (年齢)	生年月日	称号・勤務先	推挙の事由
櫻井 英樹 (88)	1931.05.16	東北大学名誉教授	令和元年度特別賞受賞
柴崎 正勝 (73)	1947.01.25	(公財)微生物化学研究会 理事長・所長	平成 22 年度特別賞受賞
佐藤 幸蔵 (70)	1949.03.08	(株)NIL 代表取締役社長	平成 27-28 年度会長

表 3・2 名誉会員一覧(令和 2 年 2 月 19 日現在、委嘱年月日順、敬称略)

No.	氏 名	勤務先役職 or 称号(委嘱当時)	委嘱年月日	生年月日	会長	特 別 賞
1	E. J. Corey	ハーバード大学教授	1993.02.16	1928.07.12	97-98	ノーベル賞
2	辻 二郎	東京工業大学名誉教授	2000.02.22	1927.05.11		1998
3	野依 良治	科学技術振興機構センター長	2002.02.19	1938.09.03		2000
4	吉田 善一	京都大学名誉教授	2003.02.18	1925.08.19		2001
5	鈴木 章	北海道大学名誉教授	2005.02.24	1930.09.12		2003
6	平岡 哲夫	元三共有機合成(株)代表取締役社長	2006.02.23	1935.08.05	03-04	
7	村井 眞二	大阪大学名誉教授	2006.02.23	1938.08.24	01-02	2004
8	村橋 俊一	大阪大学名誉教授	2008.02.20	1937.05.12		2006
9	岸 義人	ハーバード大学名誉教授	2010.02.19	1937.04.13		2009
10	中井 武	東京工業大学名誉教授	2011.02.18	1940.08.30	05-06	2014
11	根岸 英一	パデュー大学特別教授	2011.02.18	1935.07.14	07-08	ノーベル賞
12	白濱 晴久	北海道大学名誉教授	2012.02.17	1930.06.28		2011
13	亀田 邦明	早稲田大学名誉教授・荣誉フェロー	2013.02.19	1940.12.01		2012
14	玉尾 皓平	京都大学名誉教授	2014.02.20	1942.10.31		2013
15	山本 尚	シカゴ大学名誉教授	2014.02.20	1943.07.16		2013
16	迫田 良三	元日産化学工業(株)副社長	2014.02.20	1943.08.24	09-10	
17	大村 智	北里大学特別栄誉教授	2016.02.18	1935.07.12		ノーベル賞
18	桑嶋 功	東京工業大学名誉教授	2016.02.18	1937.11.11		2015
19	蘭頭 健吉	大阪市立大学名誉教授	2017.02.16	1931.12.05		2016
20	山本 嘉則	東北大学名誉教授	2019.02.14	1942.11.21		2018
21	福山 透	東京大学名誉教授	2019.02.14	1948.08.09		

その他

議案があれば挙手の上、提議してください。

【報告事項】

報告 1 平成 31 年度事業報告（平成 31 年 1 月 1 日から平成 31 年 12 月 31 日まで）

1. 平成 31 年度通常総会(第 82 回)

- ✓ 平成 31 年 2 月 14 日 如水会館にて開催
- ✓ 構成員(代議員)99 名中、出席者 96 名(本人出席 16 ; 代理人出席 0 ; 委任状・書面表決 80)
- ✓ 決議事項
 - 第 1 号議案 『平成 30 年度決算報告承認』の件
 - 第 2 号議案 『平成 31 年度役員選任』の件
 - 第 3 号議案 『名誉会員委嘱』の件
 - 第 4 号議案 『会費の改定』の件
- ✓ 報告事項
 - 報告 1. 『平成 30 年度事業報告』
 - 報告 2. 『平成 31 年度事業計画報告』
 - 報告 3. 『平成 31 年度収支予算報告』
 - 報告 4. 『永年会員昇格者報告』

2. 会員動向

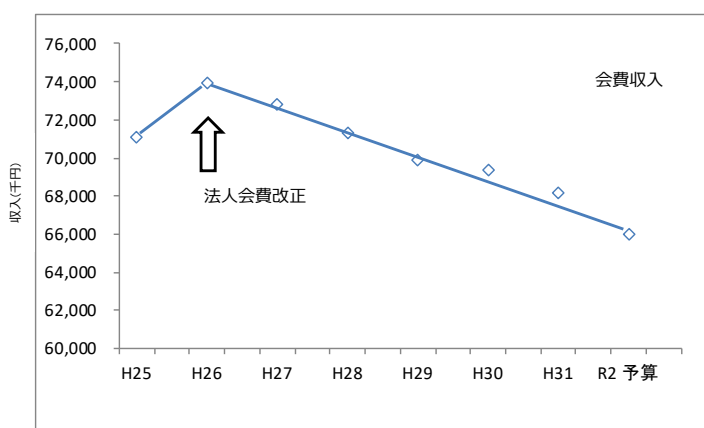
表 4 会員数動向

区 分		H30 末	入 会	復 活	退 会	区分変更		異動計	H31 末
普通会員	個人	3,615	94	1	▲255	104	▲25	▲81	3,534
	法人	222	3		▲2			1	223
	団体	3						0	3
普通会員計		3,840	97	1	▲257	104	▲25	▲80	3,760
永年会員		215			▲18	23	▲1	4	219
名誉会員		22			▲3	2		▲1	21
学生会員		661	193		▲174	1	▲104	▲84	577
合 計		4,738	290	1	▲452			▲161	4,577

会費収入の経年変化

平成 28 年度までの会費減収は、主として個人・学生会員の退会によるものである。学生会員は有機合成シンポジウム（春）の地方開催や平成 30 年度のホームページの見直しによる利便性や効率性の向上が奏功し、減収を抑えることができた。しかし、個人会員は引き続き減少が続き前年度比 1,382 千円の減収となった。

一方、法人会員は関係各位の斡旋のご助力で昇級法人があったこと、また研究部会への参加を目的とする新規入会があり、法人会費の減収を抑えることができた。



会員種別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2予算
個人会員	41,427	40,535	39,688	38,488	37,237	36,643	35,261	34,242
法人会員	26,200	30,259	30,190	29,967	29,630	29,650	29,825	29,300
団体会員	160	160	160	160	160	160	160	160
学生会員	3,321	3,003	2,742	2,666	2,830	2,910	2,900	2,300
合計	71,108	73,957	72,780	71,281	69,857	69,363	68,146	66,001
前年との差	—	2,849	-1,177	-1,499	-1,424	-494	-1,217	-2,145

3. 事業報告

平成 31 年度に実施した編集出版、研究会、および表彰の各事業について、表 5 のとおり報告する。

公 1・編集出版事業(14 頁)

公 2・研究会事業

シンポジウム

本部(14 頁) 北海道支部(15 頁) 東北支部(15 頁) 関東支部(16 頁)
 東海支部(16 頁) 関西支部(18 頁) 中国四国支部(18 頁) 九州山口支部(18 頁)

講習会

本部(18 頁) 東北支部(19 頁) 関西支部(20 頁)

懇談会

本部(20 頁) 関東支部(21 頁) 東海支部(21 頁)
 関西支部(22 頁) 中国四国支部(22 頁) 九州山口支部(23 頁)

見学会

九州山口支部(23 頁)

公 3・表彰事業

有機合成化学特別賞(24 頁) 有機合成化学協会賞・奨励賞(24 頁)
 Mukaiyama Award(24 頁) Lectureship Award(24 頁)
 企業冠賞(24 頁) 高砂香料国際賞「野依賞」(25 頁)
 支部表彰 関西支部(25 頁) 中国四国支部(25 頁)
 九州山口支部(25 頁)

他 1・共益事業

ゆうごう会(26 頁) 研究企画賞(26 頁)

表 5.1 平成 31 年度事業報告 (その 1)

事業の名称および事業の概要		参加者数 総数(学生数)
公 1・編集出版事業		
有機合成化学協会誌		
第 77 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 5,400 部(除く第 11 号)、5,500 部(第 11 号)、総頁数 1,418 普通号 10 回；特集号 2 回(第 5 号「ラジカル種の利用最前線—合成・物性・理論」；第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 27(3)、総合論文 741(72)、Review de Debut 60(26)、ラウンジ 28(3)、ケミカルズ覚え書き 0(0)、十字路 11(44)、感動の瞬間・MyPR 50(14)、新しい合成 57(227)、会告・協会記事等 243、広告 138 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2019 年度分を掲載。		
単行本の編集・出版		
該当なし		
公 1 関連会議		
有機合成化学協会誌編集委員会(2/1, 3/15, 5/24, 7/19, 9/20, 11/25)		
公 2・研究会事業		
シンポジウム【本部】		
第 115 回有機合成シンポジウム；6/3～6/4；東北大学青葉山コモンズ 口頭研究発表 36 件；ポスター発表 65 件 合計 101 件；優秀ポスター賞 6 件表彰 受賞講演 2 件【平成 30 年度有機合成化学協会・企業冠賞受賞講演】 1. [シオノギ・低分子創薬化学賞] グアニジンアルカロイド類の全合成（東京農工大院工）長澤和夫 2. [東ソー・環境エネルギー賞] 精密錯体触媒を用いる安定カルボン酸誘導体の水素化法の開拓と応用 （名大物質科学国際研究セ）斎藤進 共催：日本化学会；日本薬学会 協賛：日本農芸化学会		213(108)
第 116 回有機合成シンポジウム；10/31～11/1；早稲田大学国際会議場 口頭・ポスター発表 38 件；ポスター発表 12 件 合計 50 件；優秀ポスター賞 6 件表彰 受賞講演 3 件 【平成 30 年度有機合成化学協会賞(技術的なもの)受賞講演】 連続フロー反応による医薬品の革新的プロセス開発（カネカ）安河内宏昭 【平成 30 年度有機合成化学協会・企業冠賞受賞講演】 1. [日産化学・有機合成新反応／手法賞] 官能基標的触媒による化学選択性の触媒制御を基盤とする複雑系分子の直接的変換反応の開発 （九大院薬）大嶋孝志 2. [富士フイルム・機能性材料化学賞] タンデムボラ Friedel-Crafts 反応を鍵とした有機エレクトロニクス材料の開発 （関西学院大理工）畠山琢次 共催：日本化学会；日本薬学会 協賛：日本農芸化学会 後援：早稲田大理工学術院総合研究所		207(93)
第 52 回酸化反応討論会；11/9～11/10；奈良女子大 招待講演 2 件、一般口頭発表 20 件、ポスター発表 50 件 主催：第 52 回酸化反応討論会実行委員会 共催：有機合成化学協会、日本化学会、日本薬学会、錯体化学会、触媒学会 協賛：日本農芸化学会		134(55)
第 52 回有機金属若手の会・夏の学校；6/24～6/26；倉敷せとうち児島ホテル 招待講演 3 件、依頼講演 7 件、若手講演 2 件、ポスター発表 128 件 主催：有機金属若手研究者の会 共催：有機合成化学協会、近畿化学協会有機金属部会 協賛：日本化学会		176(159)

表 5・2 平成 31 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【北海道支部】	
第 31 回万有札幌シンポジウム ; 7/6 ; 北海道大学 招待講演 5 件、学生ポスター発表 19 件 1.ラジカル反応の活用による複雑分子構築の単純化 (東大院薬) 井上将行 2.生体内合成化学医療 / 体内で治療診断分子を合成する (理研) 田中克典 3.第 3 周期典型元素の特性を生かした新奇 π 電子系の創製と機能開拓 (京大院物質細胞統合システム) 深澤愛子 4.不活性結合を利用した π 協約系拡張法の開発と利用 (慶大理工) 垣内史敏 5.触媒の発見、産学連携、触媒研究の未来 (産総研) 佐藤一彦 主催 : 万有札幌シンポジウム組織委員会 協賛団体 : MSD 生命科学財団 共催他団体 : 日本化学会北海道支部、北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、北海道大学化学反応創生研究拠点 WPI-ICReDD)	320(270)
日本化学会北海道支部 2019 年 夏季研究発表会 ; 7/20 ; 苫小牧工業高等専門学校 特別講演 2 件 1.苫小牧における CCS 実証実験について (日本 CCS 調査) 今井秀貴 2.世界の化学会を目指して (日本化学会・自然科学研究機構) 川合真紀 一般口頭発表 91 件 主催 : 日本化学会北海道支部 共催他団体 : 日本分析化学会・高分子学会・触媒学会・日本エネルギー学会・石油学会の各北海道支部、日本セラミックス協会東北・北海道支部	147(85)
若手研究者のための有機化学札幌セミナー ; 11/20 ; 北海道大学 1.テトラヒドロイソキノリンアルカロイド群の化学 – 酵素ハイブリッド全合成 (東京農工大工) 谷藤涼 2.trans-TE NRPS の発見と機能改変 (北大院薬) 松田研一 3.ヘテロ環 π 共役化合物とその金属錯体による機能開拓 (北大院工) 米田友貴 4.論理的設計に基づく発光、蛍光、光音響イメージンググローブの開発 (北大院薬) 高倉栄男 5.酸アゾール複合体を促進剤に用いる反応の開発 (名大院情報学) 塚本真幸 主催 : 有機合成化学協会北海道支部 ; 共催 : 有機合成化学協会	208(164)
シンポジウム【東北支部】	
第 30 回万有仙台シンポジウム ; 6/29 ; 仙台国際センター 1.実験と理論で有機化学を楽しむ : 出会い、偶然、執念、挑戦 (東大院薬) 内山真伸 2.超炭素鎖天然有機化合物の構造決定、化学合成、および生物活性評価 (九大院理) 大石徹 3.反応有機化学から生命分子夾雑科学へ (東工大科技創成) 中村浩之 4.赤外円二色性スペクトルによる生命分子のキラリティ解明 (北大院先端生命) 門出健次 5.構造有機化学から物質造形科学へ (東工大科技創成) 福島孝典 6.仙台の地で始めた研究の今昔 (理研) 袖岡幹子 主催 : 万有仙台シンポジウム組織委員会	365(268)
仙台地区春の講演会 ; 6/15 ; 東北大学青葉サイエンスホール 1. Drug Discovery: The Discovery of Novel, Potent and Orally Active COX-2 Inhibitors; "Hit" to Candidate (大正製薬) ロドニースティーブンス 2.光学活性分子の新規合成法 (京大院工) 松原誠二郎 3.HIV-1 インテグラーゼ阻害剤 ドルテグラビルの効率的合成法の開発 (塩野義製薬) 安酸達郎 4.フッ素を電子供与基として活用する有機合成反応 (筑波大数理物質) 市川淳士	101(69)
化学系学協会東北大会 ; 9/21~9/22 ; 山形大学小白川キャンパス 特別講演 3 件 ; 招待講演 11 件 ; 依頼講演 39 件 ; 口頭発表 5 件 ; ポスター発表 319 件 主催 : 日本化学会東北支部 共催 : 高分子学会, 日本分析化学会, 化学工学会, 電気化学会, 日本材料学会の各東北支部、繊維学会東北北海道支部、無機マテリアル学会北部支部、分子科学会東北地区、高等学校文化連盟全国自然科学専門部、山形大学	576 (368)

表 5・3 平成 31 年度事業報告 (その 3)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【東北支部】	
第 34 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー；11/9；東北大学青葉サイエンスホール 1.ポリホスフィン(PPh)₅を利用するロジウム触媒含リン複素環化合物の合成（東北大院薬）澤畑恭佑 2.銅触媒による[1,3]-アルコキシ転位を鍵とするメタ置換アニリン合成法の開発（東北大院理）田代大樹 3.3,4-エポキシアミンの触媒的位置選択的分子内アミノリシス反応の開発（東北大院薬）栗山佑世 4.有機触媒反応生成物の中心不斉を利用した軸不斉ピアールの合成（東北大院理）滝川彬 5.ウレートを塩基性官能基として利用した強塩基性キラルプレンステッド塩基触媒の開発（東北大院理）石川奨 6.ケトンのケイ素類縁体“シラノ”の合成と性質（東北大院理）小林良 7.コロナチン全立体異性体ライブラリーの構築とその受容体サブタイプ選択性の評価（東北大院理）林謙吾 8.脂肪鎖変換型アブラトキシシン A アナログの創製（東北大院薬）福土和希 9.[2+2+2]環化付加反応に基づくキャンディドゥシン類縁体の全合成（秋田大理工）佐藤大介 10.Amycolamicin の全合成研究（東北大院農）目黒康洋 11.Acochlearine の合成研究（東北大院薬）宮本尚也 12.リン酸トリメチルを水酸基活性化剤とした共役エンインおよび環状エーテル合成（岩手大理工）浅井彰太	156(133)
シンポジウム【関東支部】	
第 77 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(横浜シンポジウム)；5/18；慶應義塾大学理工学部矢上キャンパス 特別講演 2 件、一般研究講演 74 件 1.私にとっての有機合成化学（横浜市大院生命ナノシステム）及川雅人 2.プレニル修飾された天然キサントン類の合成（東京薬大薬）松本隆司 〔若手講演賞〕6 件表彰 共催：日本化学会、日本薬学会	263(171)
第 78 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟・新津シンポジウム)；11/30～12/1；新潟薬科大学新津東キャンパス 特別講演 3 件、一般研究講演 78 件 1.酵素触媒や生物資源を活用した有用物質合成法への挑戦（慶大薬）須貝威 2.遠隔位不斉誘導における 5 オンゲストローム仮説：超分子の不斉合成（京大化研）川端猛夫 3.新農薬開発を目指した戦い（日本曹達）三谷晃 〔若手講演賞〕7 件表彰 共催：日本化学会、日本薬学会	212(127)
若手研究者のためのセミナー；8/3；東京大学薬学系総合研究棟 2 階講堂；講演 6 件 1.ケイ素化合物の活性化を駆使する触媒的有機合成（産総研）永縄友規 2.π 共役分子の新奇な反応性と構造を生かした π 電子材料の探索（物質・材料研究機構）高井淳朗 3.Chemical Biology of Nucleic Acid - Potent and Selective Inhibitors of a DNA Repair Enzyme - (味の素) 田原優樹 4.ボロン酸を活用した生体高分子の化学修飾（慶大薬）花屋賢悟 5.疾患原因アミロイドに対する光酸化触媒の開発（東大院薬）相馬洋平 6.アザジラクチンの合成研究から学んだ天然物合成の醍醐味（乙卯研究所）森直紀	44(30)
シンポジウム【東海支部】	
有機合成セミナー；10/21；名古屋大学 1.植物アルカロイドの実践的全合成を目指して（熊本大院先端）石川勇人 2.非中心不斉を有する分子を基盤とする精密有機合成（阪府大院理）神川憲 3.特異な機能の発現を目指したジアザポルフィリン誘導体の合成（新潟大自然科学）俣野善博	70(55)
若手研究者のためのセミナー；7/11；静岡大学 【支部奨励賞受賞講演】 1.生理活性および機能性物質の創出を踏まえたトリフロンおよび含フッ素化合物の合成研究（名工大理工）住井裕司	69(59)

表 5・4 平成 31 年度事業報告（その 4）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
前ページからの続き 2.新規カルボン酸等価体ヒドロキシソチアゾール S-オキシドの開発と糖尿病治療を目指した新規 GPR40 作動薬の創製（持田製薬）大河内宗隆 3.不均一系触媒を使用した重水素標識法の開発と触媒担体を利用した残留金属の除去法開発（岐阜薬大創薬化）山田強 【招待講演】 1.生命を軸とした有機合成化学の射程（豊橋技科大院工）岩佐精二 2.マキサカルシトール プロセス開発からの学び（中外製薬）清水仁	
第 50 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会；11/9～11/10；信州大学 【特別討論会】「新時代を築く有機化学」 <依頼講演> 1.過渡的たんぱく質間相互作用の操作に向けた合成分子戦略（信州大農）大神田淳子 2.SF₅ピリジンの合成（名工大院工）柴田哲男 3.有機化学者が展開する電極材料・電極触媒研究（愛工大工）森田靖 <招待講演> 1.生体内合成化学治療（理研）田中克典 2.超長距離秩序構造を有するソフトマターの形成と動的挙動（東工大化生研）福島孝典 共催：日本化学会、高分子学会、化学工学会、日本農芸化学会、日本油化学会、日本薬学会など	451(283)
有機合成化学総合講演会；12/24；岐阜大学 1.炭素-窒素多重結合を活用した含窒素ヘテロ環合成反応の開発（三重大院工）八谷巖 2.新しいトポロジーを持つナノ炭素分子の合成と性質（京大化研）山子茂	76(65)
第 36 回有機合成化学セミナー；9/17～19；長良川国際会議場・ホテルパーク(岐阜県岐阜市) 【招待講演 8 件】 1.ヨウ素を活用する有機合成反応（阪大院工）南方聖司 2.量子化学計算に基づく反応経路ネットワークと、その反応予測への展開（北大院理）前田理 3.官能基標的触媒による化学選択性の触媒制御を基盤とする複雑系分子の直接的変換反応の開発（九大院薬）大嶋孝志 4.有機触媒を用いた最近の進展（東北大院理）林雄二郎 5.メカノケミストリー：機械刺激応答機能と有機合成への展開（北大院工）伊藤肇 6.次亜塩素酸ナトリウム 5 水和物(SHC5)：取扱いと有機合成反応への応用（日本軽金属）岡田倫英 7.複合脂質の合成と免疫調節作用制御への展開（慶大理工）藤本ゆかり 8.光学活性分子の新規合成法の開発（京大院工）松原誠二郎 【Lecture Ship 受賞講演 1 件】 1.Catalytic Carbonyl-Olefin Metathesis and Oxygen Atom Transfer (University of Michigan) Corinna S. Schindler 【Mukaiyama Award 受賞講演 2 件】 1.Break-it-to-Make-it Strategies for Complex Molecule Synthesis (University of California, Berkeley) Richmond Sarpong 2.典型金属ヒドリドを用いる有機合成反応（Nanyang Technological University）千葉俊介 【奨励賞受賞講演 5 件】 1.不活性結合の切断を伴う触媒的炭素骨格構築反応（東大院工）岩崎孝紀 2.ヘリセンのらせん構造内部空間に着目した機能性分子の創製研究（昭和薬大薬）臼井一晃 3.水素抽出型化学変換法の開発と応用展開（岐阜薬大薬）澤間善成 4.含窒素芳香族化合物の新構築法に基づいた多機能性発光分子の創製（阪大院工）武田洋平 5.不均一系触媒としての金属ナノ粒子の創成と有機合成への展開（東大院理）宮村浩之 ポスター発表 90 件 共催：有機合成化学協会本部	223(118)

表 5・5 平成 31 年度事業報告 (その 5)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【関西支部】	
2019 年度有機合成化学北陸セミナー ; 9/27~9/28 ; 石川県青少年総合研修センター 【特別講演 3 件】 1. レニウム錯体を用いた新規触媒反応の開発 (関西大化学生命工) 西山豊 2. HIV-1 インテグラーゼ阻害薬ドルテグラビルナトリウムの効率的合成法の開発 (塩野義製薬) 安酸達郎 3. 遷移金属触媒が開く分子創出の新展開 (京大院工) 大村智通 一般研究発表 10 件 ; ポスター発表 53 件 共催 : 日本化学会、日本薬学会	204(159)
第 39 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」 ; 8/8 ; 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス 1. 超原子価ヨウ素カップリングの反応および反応剤設計 (立命館大薬) 土肥寿文 2. デヒドロアミノ酸含有天然物ホモブシン A の全合成研究 (阪市大院理) 保野陽子 3. 生物活性を有する糖・脂質関連化合物の合成と機能解析 (京大院薬) 井貫晋輔 4. 電子触媒クロスカップリング反応 (関西学大理工) 白川英二 5. モデル創薬の今後の展望 (NIBIO) 近藤裕郷 6. 不活性な化学結合を有機合成に利用する (阪大院工) 茶谷直人 ポスター発表 114 件 共催 : 日本薬学会	250(176)
シンポジウム【中国・四国支部】	
若手研究者のためのセミナー(第 35 回若手化学者のための化学道場) ; 9/3~9/4 ; 松江アーバンホテル 世話人 : 島根大学 【特別指南講演】 混乱から創造へ : N-混乱ポルフィリンの発見をもとに展開する研究の楽しみ (九大院工) 古田弘幸 【師範講演】 1. キトサンフィルム表面のリンクル形成現象 (鳥取大院工) 井澤浩則 2. 構造有機化学とナノグラフェン (広島大院理) 関谷亮 3. Cleavage of B-B bond by late transition metal complexes (広島大院理) Shang Rong 4. <i>cis</i>-型ポルフィリノイドの展望と合成 (島根大院自然) 鈴木優章 5. 環拡張ポルフィリン合成の新展開 (愛媛大院理工) 奥島鉄雄 6. 触媒的な炭素-硫黄結合形成反応の開発 (岡山大 RIIS) 岩崎真之 7. π 電子系有機分子の光機能性開拓 (徳島大院社会産業理工) 八木下史敏 8. ピロール環を中心骨格に有する新規包摂化合物の合成と光機能開拓 (高知工科大環境理工) 横山創一 学生ポスター発表 : 23 件	46(33)
シンポジウム【九州・山口支部】	
第 31 回若手研究者のためのセミナー ; 8/31 ; 九州大学筑紫キャンパス ; 世話人 : 國信洋一郎 (九大先導研) 特別講演 1 件 第三級炭素上での反応化学 : 立体障害に打ち勝つ多彩な合成方法論 (山口大院創成科学) 西形孝司 招待講演 1 件 Head-to-Tail 構造を有する樹状高分子の光・電子機能 (九大先導研) アルブレヒト建 受賞講演 (ポスター賞) 7 件 ; 企業紹介 1 件 ; ポスター発表 24 件	115(81)
講習会【本部】	
有機合成化学講習会(前期) ; 6/18~6/19 ; 日本薬学会長井記念館長井記念ホール テーマ : 新時代に飛躍する有機合成化学 - 機能性分子、材料から創薬まで - 1. 高機能分子の自動探索~自動設計と自動合成の融合による機能性分子発明の自動化へ~ (産総研) 石原司 2. 睡眠障害治療薬を志向したオレキシン 1/2 受容体新規デュアルアンタゴニスト Lemborexant (E2006) の創製 (エーザイ) 寺内太郎	

表 5・6 平成 31 年度事業報告 (その 6)

事業の名称および事業の概要		参加者数 総数(学生数)
前ページからの続き 3.知ってる人は知っている多糖誘導体系キラルカラムの意外な能力～アキラル異性体分離例と計算科学による認識機構の解明～(ダイセル) 大西敦 4.セルロースナノファイバー開発の取り組み状況(日本製紙) 河崎雅行 5.核酸標的低分子創薬を支えるゲノム化学(阪大産研) 中谷和彦 6.有機ラジカルを用いるタンパク質修飾法の開発と応用(東大院薬) 生長幸之助 7.柱型環状ホスト分子ピラー[n]アレーンの創成と空間材料化学への展開(京大院工) 生越友樹 ※ランチョンセミナー2 社 ◇ロックウッドリチウムジャパン ◇野村事務所 8.有機合成で新しいケミカルバイオロジーツールを創る(九大院薬) 平井剛 9.稠密に官能基化された天然有機化合物の合成研究: 複雑な分子を読み解く(東工大理) 大森建 10.核酸医薬開発に向けた機能性人工ヌクレオシドの創製(阪大院薬) 小比賀聡 共催: 日本化学会、日本薬学会 協賛: 日本農芸化学会		68(0)
有機合成化学講習会(後期); 11/21～11/22; 日本薬学会会長井記念館長井記念ホール テーマ: 有機合成化学が切り拓く新しい世界ー独創的アプローチの最前線ー 1.MOF のナノ空間内での新しい高分子化学(東大院新領域創成) 植村卓史 2.異分野連携による新しい結晶化技術の開発とその事業化による大学発ベンチャー起業(創晶) 安達宏昭 3.我が国のデータ駆動型化学の黎明から現在まで(東大院工) 船津公人 4.細胞内の疾患関連タンパク質を減少させる有機化学的手法(東大院生命科学) 石川稔 5.核酸標的低分子創薬の理論と実際(Veritas In Silico) 中村慎吾 6.不活性結合の触媒的変換反応(阪大院工) 蔦巣守 7.新規低活動膀胱治療薬を志向したプロスタグランジン E2 受容体デュアル作動薬(ONO-8055)の創製(小野薬品工業) 木下晶博 8.生細胞で機能する化学プローブ・化学的解析手法の開発(理研) 関関孝介 9.細胞内核酸の振る舞いを照らし出す人工核酸の合成と反応(東大先端研) 岡本晃充 10.生合成遺伝子を応用した天然化合物生産および誘導体展開技術(産総研) 新家一男 共催: 日本化学会、日本薬学会 協賛: 日本農芸化学会		56(0)
「AIと有機合成化学」研究部会 第3回勉強会; 6/21; 中央大学駿河台記念館 1.分子のグラフ表現と機械学習(理研) 瀧川一学 2.化学工学的データ解析による有機反応最適化: 合成屋と解析屋のコラボレーション(静岡大グリーン科技研・同大院工) 間瀬暢之 3.マテリアルズ・インフォマティクス概念と要素技術(奈良先端大) 畑中美穂		95(0)
「AIと有機合成化学」研究部会 第4回勉強会; 10/2; ワイム会議室 1.Organic Synthesis, Synthetic Planning, and Reaction Design Using Computer(Ulsan National Institute of Science and Technology) Bartosz A. Grzybowski 2.Synthia の現在位置(シグマアルドリッチジャパン) 田中紀子		56(0)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第1回勉強会; 7/17; 化学会館 1.標的タンパク質分解誘導剤の基礎と医薬品への展開(ファイメクス) 富成祐介 2.抗体親和性ペプチドを用いた部位特異的修飾法による高機能性抗体医薬品の創出(鹿児島大理工) 伊東祐二 3.人工遺伝子スイッチによるエピジェネティック創薬(京大院理) 杉山弘		72(0)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第2回勉強会; 10/4; 化学会館 1.リポソームと DDS 創薬(帝京大薬) 奥直人 2.DDS(Drug Delivery System)と有機合成化学との連携(LTT バイオファーマ) 菊池寛 3.機能性高分子の精密設計を基盤とする医療ナノマシンの創製(東工大化生研) 西山伸宏 4.バブル-超音波による革新的薬物送達システム(BUS-DDS)(帝京大薬) 丸山一雄		68(0)
講習会【東北支部】		
青森地区講演会; 11/8; 弘前大学理工学部; 共催: 弘前大学大学院理工学研究科 1.地の利・人の和・好奇心ーシガトキシンの全合成と更なる展開(東北大名誉・アクロススクール) 平間正博		70(67)

表 5・7 平成 31 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
講習会【東北支部】	
山形地区講演会；11/28；山形大学工学部；共催：山形大学大学院理工学研究科 1.2,2'-ビナフタレンをスパーサーに有する環状ビス尿素誘導体を用いたアニオン認識とキラルアニオンによる CD 誘起（山形大理）近藤慎一 2.反応とは何か（東北大院薬）山口雅彦	55(48)
講習会【関西支部】	
有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2019」；2/4～2/5；大阪科学技術センター 1.ヘテロ芳香族化合物の構造設計，機能設計（神戸大院工）森敦紀 2.製薬企業におけるプロセス化学の現場から—チャレンジ精神がもたらす環状 1,2-アミノアルコールの新規不斉合成法の開発—（スベラファーマ）平野沙悠梨 3.<講演中止> タンデム反応を基盤とした複雑天然物の全合成研究（中央大理工）不破春彦 4.1,3-双極子を活用する複素環合成の新展開（金沢大理工）宇梶裕 5.硫黄と付き合う天然物合成（東大名誉）福山透 6.自己集合性生理活性化合物（京大化研）上杉志成 7.遺伝暗号の拡張による非天然アミノ酸のタンパク質への導入とその応用（大日本住友製薬）小林知法 8.有機分子を触媒とする可視光ペルフルオロアルキル化反応の開発（お茶の水女子大）矢島知子 9.人工遺伝子スイッチによるエビジェネティック創薬（京大院理）杉山弘 10.ロタキサン触媒による選択的分子変換—空間連結の魅力と威力—（東工大物質理工）高田十志和 共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、近畿化学協会	110(54)
有機合成夏期セミナー「明日の有機合成化学」；8/28～8/29；大阪科学技術センター 1.有機合成化学を基盤とするエレクトロニクス材料開発（阪大産研）家裕隆 2.不活性結合を利用する新規分子変換反応の開発（慶大理工）垣内史敏 3.遺伝子発現制御を目指した核酸の特殊反応場における選択的化学反应の開発（東北大多元研）永次史 4.新規メカニズムを有する抗インフルエンザ薬・Baloxavir Marboxil の創製（塩野義製薬）河井真 5.ラジカル化学で何ができるか：新規有機ラジカル触媒の創製と活用（京大院薬）丸岡啓二 6.マイクロリアクターを用いた超高速反応による精密有機合成化学（京大院工）永木愛一郎 7.複雑な海洋天然物の全合成（中央大理工）不破春彦 8.非局在型ラジカル種がつくり出す特殊な結合（阪大院理）久保孝史 9.極細繊維成形技術と商品展開（帝人フロンティア）神山三枝 10.天然物から糖ペプチドの合成に使える有機触媒の開発（京大院薬）竹本佳司 共催：日本化学会、日本農芸化学会、日本薬学会、近畿化学協会	91(28)
懇談会【本部】	
2019 新春特別フォーラム；1/17；化学会館・山の上ホテル（本館） ※講演の部「世界に飛躍する日本の科学技術—産学の明日を考える—」 1.革新的新薬を世界中の患者さまへ—“SHIONOGI”の挑戦（塩野義製薬）手代木功 2.人との出会いと私の研究（北里大北里生命研）大村智 ※賛詞交換会「産官学の人的ネットワーク構築をめざして」 共催：有機合成化学協会関東支部	144(0)
「AIと有機合成化学」第 3 回公開講演会；1/31；早稲田大学国際会議場 1.創薬研究の最前線（帝人ファーマ）上村みどり 2.人工知能(AI)と統計モデル（ワイハット）梶山昌之 3.データ駆動による新材料の発見（京大院工）田中功 共催：早稲田大理工学術院総合研究所	164(12)
「ニューモグラティと有機合成化学」研究部会-キックオフミーティングを兼ねて- 第 1 回公開講演会；5/27；化学会館 1.核酸医薬への新しい有機合成化学的アプローチ（東京理大薬）和田猛 2.トポイソメラーゼ I 阻害剤を搭載した抗体薬物複合体(ADC)の研究開発（第一三共）戸田成洋	97(0)

表 5・8 平成 31 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要		参加者数 総数(学生数)
前ページからの続き 3.ポスト抗体医薬：立体構造規制ペプチドを基盤とする分子標的化合物の新しい設計法 (阪府大院理) 藤井郁雄 4.がん治療における新しい抗体医薬開発 (がん研究センター先端医療開発センター) 松村保広 * 展示(ショートプレゼン含む) 3 社 ◇味の素 ◇東京化成工業 ◇富士フイルム和光純薬		
中堅・若手リーダーのための Y U G O K A F e (ユウゴウカフェ) (講演 & 討論会) —法人企業のリーダークラス、次のリーダーを担う研究職・技術系社員、同年代のアカデミア所属会員のためのフォーラム— 8/23 ; 化学会館 [第 I 部] 講演 2 件 1.ヘラクレスの選択、連続生産実装化へのドキュメンタリー (高砂ケミカル) 齊藤隆夫 2.激動の時代を生きるリーダーを目指して (Axcelead Drug Discovery Partners) 池浦義典 [第 II 部] 討論会		63(0)
懇談会【関東支部】		
有機合成化学ミニシンポジウム① ; 4/26 ; 東京理科大学神楽坂キャンパス 1.モルヒナン骨格を基盤とする研究開発—独創的新薬の創出を目指して— (筑波大国際統合睡眠医科学機構) 長瀬博		120(69)
有機合成化学ミニシンポジウム② : ミニシンポジウム湘南 2019 ; 7/6 ; 東海大学湘南キャンパス 1.タンパク質を安定化する低分子の新設計 (東京農工大院工) 村岡貴博 2.核酸医薬への新しい有機合成化学的アプローチ (東京理大薬) 和田猛 3.ヘテロ環構築を鍵とする生物活性天然物の合成 (静岡県大薬) 菅敏幸		117(101)
有機合成化学ミニシンポジウム③ : ミニシンポジウム千葉 2019 ; 11/19 ; 千葉大学自然科学系総合研究棟 (西千葉キャンパス) 1.ビタミン D と創薬 (帝人ファーマ) 竹之内一弥 2.ポリフェノール合成から学んだ有機化学 (東工大理) 大森建 3.有機フォトクロミズムのニューフロンティア (青山学院大理工) 阿部二郎		92(65)
有機合成化学ミニシンポジウム④ : ミニシンポジウム多摩 2019 ; 10/27 ; 東京薬科大学 3 号館 1.ちょっとした発想でクリックケミストリーを一步前に (東京医歯大生材研) 吉田優 2.天然物合成が構築する化学と人の『わ』 (横浜薬大薬) 庄司満 3.複雑な天然物の合成に学ぶ (東工大理) 鈴木啓介 共催 : 東京薬科大学、東京薬科大学「私立大学研究ブランディング事業」		—(—) 荒天中止
第 17 回有機合成化学談話会(湯河原セミナー) ; 9/27~9/28 ; 富士フイルム和光純薬(株)湯河原研修所 講演 3 件 1.脱カルボニル型変換反応の非線形展開 (早大理工) 山口潤一郎 2.光を利用する有機合成 : 光触媒の設計と分子変換反応 (首都大東京院理) 稲垣昭子 3.最後まで、糖を変換しなかった—確率低下に軌道修正まだ間に合います— (北里環境科学センター) 味戸慶一 【ショートレクチャー】&【ポスターセッション】8 件		25(7)
懇談会【東海支部】		
訪日学者講演会 ; 2/25 ; 名古屋大学 No Strain No Gain (Department of Chemistry and Biochemistry, University of Arizona, USA) Jon T. Njardarson		72(65)
訪日学者講演会 ; 5/22 ; 名古屋工業大学 Synthesis of organofluorine compounds using difluorocarbene (N.D. Zelinsky Institute of Organic Chemistry, Moscow (Russian Federation))Alexander Dilman		28(3)

表 5・9 平成 31 年度事業報告 (その 9)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【東海支部】	
訪日学者講演会；6/3；信州大学 New Reactions, Reagents, and Strategies to Advance On-Demand Therapeutic Development (Department of Chemistry, Vanderbilt University Nashville, Tennessee, USA) Jeffrey N. Johnston	140(120)
訪日学者講演会；7/1；名古屋大学 Molecular Surgery (Department of Chemistry, University of Illinois, USA) M. Christina White	93(81)
訪日学者講演会；7/29；岐阜大学 Structural Divergence in Racemic Dynamic Combinatorial Chemistry (Department of Chemistry University of Bath UK) G. Dan Pantos	45(38)
訪日学者講演会；8/28；名古屋大学 Hypervalent Iodines in Fluorination and Trifluoromethylation Reactions (Department of Organic Chemistry Stockholm University, Sweden) Kálmán J. Szabó	67(58)
訪日学者講演会；9/10；名古屋大学 Ti-Catalyzed Nitrene Transfer Reactions: Harnessing the TiII/TiIV Redox Couple for New Transformations (Department of Chemistry, University of Minnesota) Ian A Tonks	87(74)
訪日学者講演会；9/24；岐阜薬科大学 New methods in deuteration chemistry: enzymatic synthesis of challenging small molecules (Deuteration scientist The European Spallation Source ERIC, Lund, Sweden And Deuteration chemist National Deuteration Facility, Australian Nuclear Science and Technology Organisation, Sydney, Australia) Anna Leung	25(20)
訪日学者講演会；9/30；岐阜薬科大学 Deuteration for neutron science (Manager of the ISIS Deuteration Facility ISIS Pulsed Neutron and Muon Source Rutherford Appleton Laboratory Science and Technology Facilities Council Oxford, UK) Peixun Li	27(20)
訪日学者講演会；12/20；名古屋工業大学 Rethinking Copper-Mediated Trifluoromethylation Strategy (The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong) Gavin Chit Tsui	29(26)
懇談会【関西支部】	
有機合成新春講演会；1/23；大阪科学技術センター 1.炭素-炭素結合生成反応の開発（阪大院工）神戸宣明 2.高性能有機分子触媒の開拓（京大院理）丸岡啓二 共催：近畿化学協会	80(8)
セミナー化学千一夜「明日の化学への夢を語ろう」；6/21～6/22； 神戸臨床研究情報センター／鈴木薄荷(株)新本社工場／ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター 1.鈴木薄荷(株)の概要説明と天然 ℓ -メントールの製造工程について（鈴木薄荷）和田芳明、井上学、山口創一郎 2.鈴木薄荷(株)工場見学＜ ℓ -メントールの製造工程の見学＞ 3.グラフェンナリボンボトムアップ合成への挑戦（奈良先端大）山田容子 4.放談会「時間を空間で制御する有機合成化学」（鈴鹿高専／京大名誉）吉田潤一 5.口腔内崩壊錠用崩壊剤グランフィラーDの開発（ダイセル）石川左枝 6.非中心不斉を有する分子を基盤とする精密有機合成（阪府大院理）神川憲 7.高次生体機能分子としての中分子複合糖質の創製（阪大院理）深瀬浩一 共催：日本化学会、近畿化学協会	41(4)
懇談会【中国・四国支部】	
第 79 回パネル討論会；5/18；広島大学 1.化学反応性人工分子と生体分子を組み合わせてつくる刺激応答性超分子システム（岐阜大工）池田将	51(23)

表 5・10 平成 31 年度事業報告 (その 10)

事業の名称および事業の概要		参加者数 総数(学生数)
前ページからの続き 2.超分子会合による水系長波長発光システムの構築 (久留米工専) 石井努		
第 80 回パネル討論会 ; 10/26 ; 鳥取大学 1.50 年来の糖化学の難題を解く (岐阜大生命セ) 安藤弘宗 2.小さなシクロデキストリンを合成する (関西学院大理工) 山田英俊		74(57)
来日学者講演会 ; 1/24 ; 岡山大学 Benefits from Circularly Polarized Luminescence of Metal-Containing and Organic Compounds (San José State University, USA) Prof. Gilles Muller		28(24)
来日学者講演会 ; 6/18 ; 愛媛大学 1.Modulation of spintronic properties of metallocorroles (Nanjing University, China) Prof. Zhen Shen 2.Catalytic hydrogenation of carbon-carbon single bond with water catalyzed by metalloporphyrins (The Chinese University of Hong Kong, China) Prof. Kin-Shing Chan		31(25)
来日学者講演会 ; 7/29 ; 愛媛大学 From π -expanded diketopyrrolopyrroles to pyrrolo[3,2-b]pyrroles – the fluorophores for XXI century (Polish Academy of Sciences, Poland) Prof. Daniel T. Gryko		27(24)
来日学者講演会 ; 8/29 ; 岡山大学 Effect of Arginine Modifications on Structure and Function (National Taiwan University, China) Prof. Richard P. Cheng		23(17)
来日学者講演会 ; 9/13 ; 岡山大学 Difluoroalkyl Reagents as Various Synthons in Organic Synthesis (Huaqiao University, China) Prof. Qiuling Song		22(17)
第 16 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム ; 12/7~12/8 ; 広島大学 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分) 主催 : ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会		64(44)
懇談会【九州・山口支部】		
第 56 回化学関連支部合同九州大会 ; 7/13 ; 北九州国際会議場 化学関係九州支部(共催) ; 担当 : 日本化学会九州支部 特別講演 ; 1 件 (有機化学) 擬天然物を標的とする有機合成 (九大院薬) 平井剛 招待講演 8 件 ; ポスター発表 106 件		900 (640)
第 1 回有機合成化学講演会 ; 5/24 ; 九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I 招待講演 3 件 ; 世話人 : 谷口陽祐 (九大院薬) 1.二次構造制御を基盤としたペプチド創薬研究 (国立医薬品食品衛生研究所) 出水庸介 2.不斉有機触媒によるケイ素化合物とホウ素化合物の共役付加反応 (崇城大薬) 杉浦正晴 3.DNA/RNA を標的にした選択的認識と効率的反応の研究 (九大院薬) 佐々木茂貴		98(53)
来日学者講演会 ; 1/18 ; 九州大学病院キャンパス ; 担当 : 大嶋孝志 (九大院薬) Exploring New Synthetic Methodologies for the Asymmetric Synthesis of Natural Products (University of Málaga) Prof. Francisco Ramón SARABIA GARCÍA		19(15)
来日学者講演会 ; 6/7 ; 九州大学筑紫地区先端物質化学研究所 ; 担当 : 友岡克彦 (九大先導研) Stimuli-Responsive Fluorescent Molecular Solids:From Mechanofluorochromism to Photomechanofluorochromism (Taiwan National University) Jye-Shane Yang		20(17)
見学会		
【九州・山口支部】 10/24 ; JNC(株)水俣製造所 ; 世話人 : 吉岡雅臣 (JNC)		14(0)
公 2 関連会議		
有機合成化学協会事業委員会 ; 5 回(3/5,5/15,7/9,10/1,12/5) 2019 年度(秋季)有機合成化学講習会企画委員会 ; 1 回(5/15)		

表 5・11 平成 31 年度事業報告 (その 11)

事業の名称および事業の概要		参加者数 総数(学生数)
	前ページからの続き 2020 年度(春季)有機合成化学講習会企画委員会 ; 3 回(10/31,11/21,12/5) 第 115 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議 ; 1 回(3/5) 第 116 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議 ; 1 回(7/9)	
公3. 表彰事業		担当機関
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)		
理事による候補者推薦 ; 6~8 月郵便による投票		理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考 ; 10/11 ; 化学会館 ●櫻井英樹 (東北大名誉) 業績 : 物理有機化学に立脚した有機ケイ素化学の先進的研究による有機合成化学への貢献 表彰式・受賞講演(R2.2/19)		賞選考 委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞 : 3 件 ; 奨励賞 : 5 件採択)		
各支部推薦委員会 ; ~7 月		賞選考 委員会
奨励賞書面審査 ; 実施せず		
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会 ; 10/10~10/11 ; 化学会館		
有機合成化学協会賞(学術的なもの) ●須貝威 (慶大薬) 業績 : 酵素触媒の選択性を活用した有用物質合成法の開拓 ●友岡克彦 (九大先導研) 業績 : 新しい特性を有するアルケン, アルキンの創製と応用		
有機合成化学協会賞(技術的なもの) ●村上吉明 (神鋼環境ソリューション) 業績 : 金属ナトリウム分散体(SD)の新規用途展開 有機合成化学への応用		
有機合成化学奨励賞 ●高石和人 (岡山大院自然科学) 業績 : キラルナフタレン多量体から成る円偏光発光色素の合成 ●瀧川紘 (京大院薬) 業績 : 高反応性化学種を鍵とする新合成戦略に基づく複雑な多環式天然物の全合成 ●中寛史 (名大物質科学国際研究セ) 業績 : 触媒と反応場の制御による官能基選択的水和反応の開拓 ●中園和子 (東工大物質理工) 業績 : ロタキサン構造を活用した環状高分子合成法の開発 ●藤田健志 (筑波大数理物質) 業績 : フッ素脱離の制御を鍵とする含フッ素化合物の変換法 表彰式(R2.2/19) 受賞講演 : 協会賞(学術的なもの : R2.2/19 技術的なもの : R2.6/23) 奨励賞(R2.9/16~18)		
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)		
Mukaiyama Award 委員会 ; 2020 受賞者選考委員会 8/8		Mukaiyama Award 委員会
●松永茂樹 (北大院薬) The development of new chiral catalysts for atom- and step-economical organic reactions, such as enantioselective C-H functionalization and C-C bond formation via simple proton-transfer process. ●Martin D. Burke (University of Illinois at Urbana-Champaign, U.S.A.) Pioneering the field of molecular prosthetics and the development of an automated Lego-like platform for democratizing small molecule synthesis. 表彰式・受賞講演 ; R2.9/16~18		
Lectureship Award		
●Corinna S.Schindler (University of Michigan ,USA) Catalytic Carbonyl-Olefin Metathesis and Oxygen Atom Transfer 表彰式・受賞講演 ; H31.9/17~19		東海支部
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 5 件採択)		
カネカ・生命科学賞 ; 書面審査(郵便 ; ~11/20) ●品田哲郎 (阪市大院理) 業績 : 有機合成化学を基盤とするテルペン系天然物の生合成および生物機能の解明		

表 5・12 平成 31 年度事業報告 (その 12)

事業の名称および事業の概要		担当機関
前ページからの続き シオノギ・低分子創薬化学賞；書面審査(郵便；～11/20) ●土井隆行（東北大院薬）業績：特異な生物活性をもつ天然物の全合成と構造決定 東ソー・環境エネルギー賞；書面審査(郵便；～11/20) ●永木愛一郎（京大院工）業績：マイクロリアクターの特長を活かした環境調和型の精密高速合成化学 日産化学・有機合成新反応／手法賞；書面審査(郵便；～11/20) ●中村正治（京大化研）業績：機能性有機化合物の合成に資する鉄触媒クロスカップリング反応の開発 富士フイルム・機能性材料化学賞；書面審査(郵便；～11/20) ●西原康師（岡山大理）業績：クロスカップリングを用いる π 共役系有機分子の効率的合成と電子デバイスへの応用 表彰式(R2.2/19)；受賞講演(R2.6/4～5, 11/5～6)		企業冠賞 選考委員会
高砂香料国際賞「野依賞」関連		
野依賞委員会；2019 受賞者選考委員会 8/20 ●Scott E. Denmark (University of Illinois at Urbana-Champaign, U.S.A.) Professor Denmark has pioneered the concept of chiral Lewis base activation of Lewis acids for catalysis with Main Group elements. He has also developed palladium-catalyzed cross-couplings with organofunctional silicon compounds and mechanistic studies on the Suzuki-Miyaura cross coupling. In recent years, his group has investigated the use of chemoinformatics and machine learning to identify and optimize catalysts for enantioselective reactions. Earlier contributions include the development and application of tandem heterodiene cycloadditions for the synthesis of complex natural and unnatural nitrogen containing compounds. He maintains a longstanding interest in organosilicon, -phosphorus, and -lithium chemistry. 表彰式・受賞講演；R2.2/19		野依賞 委員会
支部表彰		
【関西支部】 第 17 回関西支部賞受賞講演会；11/22；大阪科学技術センター 1.細胞内で活性化されて機能するオリゴヌクレオチドの創製（滋賀医大）實吉尚郎 2.有機反応の完全シミュレーションを志向する理論研究と合成化学への応用（阪大院薬）井川貴詞 3.高周期 14 族元素に核置換したアリアルアニオンの開発（京大化研）水畑吉行 共催：近畿化学協会		46(1)
【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」；11/9；岡山大学 【支部奨励賞受賞講演】 効率的かつ劇的な反応加速効果をもたらす有機分子触媒システムの開発（岐阜医療科学大）萬代大樹 【特別招待講演】 1.不安定な典型元素化合物の安定化の研究（広島大院理）山本陽介 2.低原子価金属を用いる反応活性種の創製（岡山大院自然科学）高井和彦		103(59)
【九州・山口支部】 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式；10/23；JNC(株)水俣製造所；世話人：谷口陽祐（九大院薬） 支部賞受賞講演 優秀論文賞：1 件 Selective and reversible modification of kinase cysteines with chlorofluoroacetamides（九大院薬）進藤直哉 奨励賞：1 件 非天然型アミノ酸の設計・合成とその含有ペプチドの二次構造ならびに膜透過機能に関する研究（長崎大生命医）大庭誠		100(50)

表 5・13 平成 31 年度事業報告 (その 13)

事業の名称および事業の概要		参加者数 担当機関
前ページからの続き 研究紹介：1 件；土屋勝義（JNC） 招待講演：2 件 1. 生体内合成化学治療（理研）田中克典 2. 分子触媒研究の垂直展開～基礎研究と産学共同研究～（九大先導研）永島英夫		
第 29 回万有福岡シンポジウム；5/25；九州大学病院キャンパス百年講堂；支部ポスター賞（2 名） 主催：万有福岡シンポジウム組織委員会		
他 1・公益事業		
ゆうごう会		
第 27 回ゆうごう会；7/11；化学会館；講演 1 件 マラリア等熱帯病への創薬開発研究（東北大名誉）井原正隆		19(0)
第 28 回ゆうごう会；12/12；King of Kings（大阪市）；講演 1 件 鳥を見る、自然を観る、地球を診る世界旅（阪市大名誉）磯江幸彦		15(0)
海外視察団派遣		
海外視察団派遣；実施なし		
技術アドバイス事業		
技術アドバイス事業；申請なし		
研究企画賞		担当機関
研究企画賞選考委員会；11/13；化学会館；24 件採択		
● 味の素研究企画賞：河崎悠也（九州大学） 多分子連結素子 DACN-MMC の開発と生体機能分子の複合化研究 ● ADEKA 研究企画賞：小和田俊行（東北大学） フッ素原子の特異な性質を利用した長波長蛍光色素群の網羅的合成と生命科学研究への応用 ● 岩城製薬研究企画賞：重光孟（大阪大学） 有機ケージを基盤とする光捕集システムを利用した高機能光触媒の創製とバイオ応用展開 ● カネカ研究企画賞：長田浩一（東京大学） 金属中心にのみキラリティーを有する四面体錯体の動的不斉誘導と不斉触媒反応への展開 ● 関東化学研究企画賞：八木亜樹子（名古屋大学） 無修飾ナノカーボンの精密合成と結晶化法の開発 ● コニカミルタ研究企画賞：鬼塚和光（東北大学） 最小の環を持つ核酸貫通構造体の構築とその機能探索 ● 塩野義製薬研究企画賞：上田篤志（長崎大学） ジ置換アミノ酸を鍵とする高活性ペプチドフォルダマー触媒の開発 ● セントラル硝子研究企画賞：百合野大雅（北海道大学） 触媒的脱フッ素化イソシアノ化反応の開発 ● 第一三共研究企画賞：池田朱里（北里大学） 多成分連結フロー合成を用いた共役ジエンテザーの簡便構築；狭域抗菌薬創製への構造活性相関を明らかにする ● 大正製薬研究企画賞：薬師寺文華（北海道大学） 一残基変異タンパク質の機能制御を指向した有機合成化学的アプローチ ● ダイセル研究企画賞：正井宏（東京大学） 光機能を光微細加工可能な有機・無機ハイブリッド材料の創成 ● 田辺三菱製薬研究企画賞：西山義剛（名古屋大学） 天然物の新奇骨格にインスパイアされたアコニチン骨格の短工程構築法の開発 ● 中外製薬研究企画賞：小西彬仁（大阪大学） カゴ型配位子によるアルミニウムの高機能触媒化：反応活性種制御に基づく生物機能制御分子の高効率合成		研究企画賞 選考委員会

表 5・14 平成 31 年度事業報告 (その 14)

事業の名称および事業の概要		担当機関
前ページからの続き ● 帝人ファーマ研究企画：三ツ沼治信（東京大学） 単純アルケンを用いたカルボニル化合物への直接的触媒不斉アリル化反応の開発 ● 東ソー研究企画賞：安藤真（熊本大学） 高度遮蔽環境下に配置した 0 価炭素を配位原子とした新規配位子の開発 ● 東レ研究企画賞：西井祐二（大阪大学） アセチレン等価体を利用した縮環分子群の迅速構築法の開発 ● 日産化学研究企画賞：大好孝幸（筑波大学） 官能基特異的反応を利用した新規天然有機化合物の探索法の開発 ● 日本触媒研究企画賞：天池一真（名古屋大学） ナノカーボンを用いたバイオイメージング・光治療 ● 富士フイルム研究企画賞：末木俊輔（武蔵野大学） ヘテロ 2 核金属錯体触媒による分子状酸素を用いた単純オレフィンの効率的エポキシ化反応の開発 ● 富士フイルムと光純薬研究企画賞：伊藤勇太（徳島文理大学） 1,5-水素移動反応を利用した糖部 4'位活性化を鍵とする 6'位修飾架橋型スクレオシドの合成 ● 三井化学研究企画賞：武田貴志（東北大学） 外部熱に対して運動を示す分子性結晶の有機合成化学的アプローチ：設計指針の確立と機能開拓 ● 三菱ガス化学研究企画賞：君嶋葵（北里大学） 新奇な構造と生物活性を有する大村天然物エバーメクチン類の収束的フローカスケード合成法の確立 ● 三菱ケミカル研究企画賞：長江春樹（大阪大学） アルコキシ架橋異種金属二核錯体を触媒とした第 3 級脂肪族アミドのエステル化反応の開発 ● Meiji Seika ファルマ研究企画賞：古田未有（東北大学） ドミノ環化によるシクロペンタインドール骨格構築法の開発と生物活性ハイブリッド型中分子合成への応用		研究企画賞 選考委員会
法人運営関連会議		
本部関連		
第 82 回通常総会(定期社員総会；2/14)		
運営委員会・理事会(1/25, 2/14, 4/15, 6/13, 9/12, 12/2)		
財務・予算委員会(11/19, 1/20)；分科会(創立 80 周年記念事業準備委員会) (6/13, 12/2)		
令和 2 年度役員候補者選出委員会(10/23)		
支部関連【北海道支部】		
第 1 回幹事会；7/6；北海道大学 1.2019 年度支部役員の紹介；2.2018 年度収支決算報告；3.2019 年度事業計画紹介；4.若手研究者のための有機化学札幌セミナーの開催場所及び招待講演者に関して；5.令和 2 年度有機合成化学協会役員の推薦に関して；6.役員候補者選出委員会・委員の選出に関して；7.有機合成化学協会賞、および、奨励賞の応募状況について；8.有機合成化学特別賞の推薦に関して；9.その他		
第 2 回幹事会；11/20；北海道大学 1.2020 年度事業計画、および予算案に関して；2.2020 年度有機合成化学協会役員候補者の選出に関して；3.第 117 回有機合成シンポジウム【春】の開催に関して；4.第 119 回有機合成シンポジウム【春】の開催に関して；5.その他		
支部関連【関東支部】		
常任幹事会；4 回(4/26,7/4,10/8,12/16)		
支部幹事会；2 回(4/26,10/8)		
代議員選任・関東支部候補者推薦委員会；1 回(7/4)		
協会賞等支部推薦委員会；1 回(7/4)		
談話会(湯河原セミナー)企画委員会；1 回(4/2)；化学会館		
新潟シンポジウム世話人会・新潟地区幹事会合同会議；1 回(11/30)		
支部関連【東海支部】		
常任幹事会；1 回(2/16)；名古屋		
支部総会；11/9；信州大学		

表 5・15 平成 31 年度事業報告（その 15）

事業の名称および事業の概要	担当機関
支部関連 【東海支部】つづき	
支部奨励賞選考委員会；4 月；メール会議	
協会賞等支部推薦委員会；7 月；メール会議	
支部関連 【関西支部】	
幹事会；4 回（第 1 回；3/13；大阪科学技術センター、第 2 回；4/26；大阪科学技術センター、第 3 回；7/17；塩野義製薬(株)医薬研究センター、第 4 回；支部キャラバン；11/22；大阪科学技術センター）	
支部関連 【中国・四国支部】	
幹事会・懇話会合同会議；2 回（第 1 回；5/18；広島大学、第 2 回；11/9；岡山大学）	
支部関連 【九州・山口支部】	
事務引継会；2/22；九州大学病院キャンパス(参加者：H30/31 幹事執行部、相談役、監査、事務局員)	
支部各賞選考委員会；5/24；九州大学病院キャンパスコラボステーション I 奨励賞・優秀論文賞・技術賞候補者によるヒアリング；支部各賞選考委員(7 名)	
第 1 回幹事会；5/24；九州大学病院キャンパスコラボステーション I 議題：2018 年度事業・決算報告；2019 年度事業計画・予算案他	
第 2 回幹事会；10/23；JNC(株)水俣製造所 議題：2019 年度中間事業・会計報告；2020 年度事業計画・予算案他	

事業報告附属明細書

令和元年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

報告 2 令和 2 年度事業計画

令和 2 年度の編集・出版、研究会および表彰の各事業計画について、以下のとおり報告する。

表 6・1 令和 2 年度事業計画（その 1）

事業の名称・事業の概要		主催	共催・協賛
公 1・編集出版事業			
有機合成化学協会誌	本部		
78巻第1～12号(12冊)、発行部数5,400部／月、年間総ページ1,400			
普通号10回			
特集号 2回			
第 5号「ニューモダリティ；有機合成化学の新しい可能性」			
第11号 Special Issue in English			
単行本の編集・出版	本部		
随時			
公 1 関連会議			
有機合成化学協会誌編集委員会(日時未定；6回)	本部		
出版委員会(日時未定；3回)	本部		
公 2・研究会事業			
シンポジウム			
第117回有機合成シンポジウム(6月4-5日；九州大学筑紫キャンパス)	本部		
第118回有機合成シンポジウム(11月5-6日；早稲田大学国際会議場)	本部		
第53回酸化反応討論会	他学会	本部	
第49回複素環化学討論会	他学会	本部	
第53回有機金属若手の会	他学会	本部	
万有札幌シンポジウム(7月・場所未定)	他学会	北海道支部	
日本化学会北海道支部夏季研究発表会(日時・場所未定)	他学会	北海道支部	
若手研究者のための有機化学札幌セミナー(11月；場所未定)	北海道支部		
仙台地区春の講演会(5月または6月；場所未定)	東北支部		
福島地区講演会(日時・場所未定)	東北支部		
岩手地区講演会(日時・場所未定)	東北支部		
若手研究者のための仙台セミナー(11月または12月；場所未定)	東北支部		
仙台セミナー賞受賞者への有機合成シンポジウム参加支援事業(6 月、11月)	東北支部		
仙台万有シンポジウム(5月または6月)	他学会	東北支部	
化学系学協会東北支部大会(9月)	他学会	東北支部	
有機化学コロキウム(9月)	他学会	東北支部	
第79回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(大岡山シンポジウム) (5月16日；東京工業大学大岡山キャンパス)	関東支部		
第80回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟シンポジウム) (11月28-29日；新潟大学)	関東支部		
有機合成化学ミニシンポジウム①(4月24日；東京理科大学記念講堂)	関東支部		
有機合成化学ミニシンポジウム②(6月；東海大学)	関東支部		
有機合成化学ミニシンポジウム③(11月；千葉大学)	関東支部		
有機合成化学ミニシンポジウム④(10月；首都大学東京)	関東支部		
若手研究者のためのセミナー(8月；東京大学薬学系総合研究棟 2 階講堂)	関東支部		
有機合成セミナー(6月；三重)	東海支部		
有機合成化学総合講演会(12月：愛知)	東海支部		
若手研究者のためのセミナー(7月；長野)	東海支部		
第51回中化連秋季大会(11月7-8日；愛知工業大学)	他学会	東海支部	

表 6・2 令和 2 年度事業計画 (その 2)

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公 2・研究会事業(つづき)		
シンポジウム		
第51回中化連秋季大会特別討論会(11月7-8日;愛知工業大学)	他学会	東海支部
第40回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー):8月上旬頃、京都大学桂キャンパス	関西支部	
有機合成北陸セミナー<福井県>(10月9-10日;センチュリオンホテル)	関西支部	
若手研究者のためのセミナー(第36回若手化学者のための化学道場) (世話人:岡山大学;9月3-4日;鷺羽山 下電ホテル)	中国四国支部	
第37回有機合成化学セミナー (9月16-18日;広島県広島市;アステールプラザ)	中国四国支部	本部
第32回若手研究者のためのセミナー(日時未定;九州大学)	九州山口支部	
講習会		
2020年度前期有機合成化学講習会(6月22-23日;日本薬学会館)	本部	
2020年度後期有機合成化学講習会(日時・場所未定)	本部	
「AIと有機合成化学」研究部会:2回開催予定(日時・場所未定)	本部	
「ニューモリティと有機合成化学」研究部会:2回開催予定 第1回(5月20日;北里大学プラチナタワー会議室)、第2回(日時・場所未定)	本部	
有機合成2月セミナー“有機合成のニュートレンド2020” (2月3-4日;大阪科学技術センター)	関西支部	
有機合成夏期セミナー“明日の有機合成化学”(8月下旬頃・場所未定)	関西支部	
懇談会		
有機合成化学懇談会(日時・場所未定)	本部	
2020新春特別フォーラム(1月16日;化学会館/山の上ホテル)	本部	関東支部
中堅・若手リーダーのためのYUGOKAF e(講演&討論会):(日時・場所未定)	本部	
「AIと有機合成化学」第4回公開講演会(2月上旬;早稲田大学国際会議場)	本部	
「ニューモリティと有機合成化学」第2回公開講演会(4月22日;京都テルサ)	本部	
来日化学者講演会:随時	北海道支部	
来日化学者講演会:随時	東北支部	
第18回有機合成化学談話会(湯河原セミナー) (9月25-26日;富士フィルム和光純薬(株)湯河原研究所)	関東支部	
訪日学者講演会(10件;日時・場所未定)	東海支部	
有機合成新春講演会(1月23日;大阪科学技術センター)	関西支部	
セミナー化学千一夜“明日の化学への夢を語ろう”(日時・場所未定)	関西支部	
第81回パネル討論会(5月;岡山大学)	中国四国支部	
第82回パネル討論会または有機合成ミニシンポジウム2020(日時・場所未定)	中国四国支部	
来日学者講演会(10件;随時)	中国四国支部	
第17回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム(日時未定;広島大学)	他学会	中国四国支部
第1回有機合成化学講演会(5月22日;九州大学病院キャンパスコラボステーション I)	九州山口支部	
第57回化学関連支部合同九州大会(6月27日;北九州国際会議場)	他学会	九州山口支部
来日学者講演会(最大4件)	九州山口支部	
見学会		
有機合成見学会(日時・場所未定)	本部	
公 2 関連会議		
事業委員会(日時未定;5回)	本部	

表 6・3 令和 2 年度事業計画 (その 3)

事業の名称・事業の概要		主催	共催・協賛
公2・研究会事業(つづき)			
公2 関連会議			
有機合成化学シンポジウムプログラム編成会議(2回)		本部	
有機合成化学講習会企画委員会(2回)		本部	
新潟シンポジウム世話人会・新潟地区幹事会合同会議(11月28日；1回)		関東支部	
有機合成化学談話会(湯河原セミナー)企画委員会(日時未定；1回)		関東支部	
公3．表彰事業		担当組織	
有機合成化学特別賞関連			
理事による予備投票(6～8月郵便)；委員会による選考(10月)		協会賞等選考委員会	
有機合成化学協会賞・奨励賞関連			
各支部推薦委員会(～7月)		各支部	
協会賞(技術)・奨励賞書面審査(7月；郵便)		協会賞等選考委員会	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会(10月)		協会賞等選考委員会	
Mukaiyama Award関連会議			
Mukaiyama Award委員会(選考委員会)		Mukaiyama Award委員会	
企業冠賞関連			
カネカ「生命科学賞」書面審査(郵便)		左記選考委員会	
塩野義製薬「低分子創薬化学賞」書面審査(郵便)		左記選考委員会	
東ソー「環境エネルギー賞」書面審査(郵便)		左記選考委員会	
日産化学「有機合成新反応/手法賞」書面審査(郵便)		左記選考委員会	
富士フイルム「機能性材料化学賞」書面審査(郵便)		左記選考委員会	
高砂香料国際賞「野依賞」関連			
野依賞委員会(選考委員会)		野依賞委員会	
支部表彰			
支部奨励賞選考・授与(予定)		東北支部	
第18回支部賞授賞講演会(日時・場所未定)		関西支部	
有機合成化学特別講演会(支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会) (11月；広島大学)		中国四国支部	
支部各賞選考委員会(5月22日；九州大学病院キャンパスコラボステーションⅠ)		九州山口支部	
第30回万有福岡シンポジウム(5月23日；九州大学病院キャンパス百年講堂)		九州山口支部	
第2回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式(日時未定；九州大学筑紫キャンパス)		九州山口支部	
他1(共益事業)			
技術アドバイス事業		本部	
ゆうごう会(日時未定：東京、大阪各1回)		本部	
海外視察団派遣(日時・場所未定)		本部	
研究企画賞			
研究企画賞選考委員会		研究企画賞選考委員会	
法人運営関連会議			
本部関連			
第83回通常総会(定期社員総会；2月19日)		本部	
運営委員会、理事会、理事会分科会(1,2,4,6,9,12月)		本部	
2021年度役員候補者選出委員会(10月)		本部	

表 6・4 令和 2 年度事業計画（その 4）

事業の名称・事業の概要	担当組織
法人運営関連会議(つづき)	
支部関連	
第1回幹事会(7月・場所未定)	北海道支部
第2回幹事会(11月・場所未定)	北海道支部
第1回常任幹事会・第1回幹事会(4月24日；東京理科大学神楽坂キャンパス)	関東支部
第2回常任幹事会(7月；場所未定)	関東支部
第3回常任幹事会(10月；場所未定)	関東支部
第4回常任幹事会(12月；場所未定)	関東支部
協会賞等支部推薦委員会(7月；場所未定)	関東支部
常任幹事会(2月15日；名古屋)	東海支部
支部総会(11月7日；愛知工業大学)	東海支部
支部奨励賞選考委員会(4月；メール会議)	東海支部
協会賞等支部推薦委員会(日時・場所未定)	東海支部
第1回幹事会(3月上旬頃、大阪科学技術センター)	関西支部
第2回幹事会(4月下旬頃、場所未定)	関西支部
第3回幹事会(7月中旬頃、場所未定)	関西支部
第4回幹事会(11月頃、場所未定)	関西支部
2020年度第1回幹事会・懇話会合同会議(5月；岡山大学)	中国四国支部
2020年度第2回幹事会・懇話会合同会議(11月；広島大学)	中国四国支部
事務引継会(2月頃；九州大学筑紫キャンパス)	九州山口支部
第1回幹事会(5月22日；九州大学病院キャンパスコラボステーションⅠ)	九州山口支部
第2回幹事会(日時未定；九州大学筑紫キャンパス)	九州山口支部

報告 3 令和 2 年度収支予算

令和 2 年度収支予算を表 7・1～7・3 に示す。収支予算の内訳は以下の通り。

- 1) 会費収入は、個人・法人の退会および学生会員電子版による減収を見込み、前年度実績比 ▲2,144 千円とした。
- 2) 研究会事業収益は、講習会(本部)の参加費収益を実情にあわせ下方修正した。
- 3) 編集出版事業収益は、広告収益と単行本印税を実情にあわせ下方修正した。
- 4) 編集出版事業費は、学生会員電子版により会誌印刷費と送達費を削減した。
- 5) 企業冠賞の賛同企業は 4 社から 5 社に増加(平成 31 年度)。
- 6) Mukaiyama Award の賞金額改定により、前年度予算比 ▲400 千円を計上(受取寄付金)。
- 7) 新規会員管理システムの移行・運用費として、通信費および雑費(IT 費)へ合計 1,100 千円を計上した。
- 8) 事務引き継ぎの予備費として、給与手当へ 2,000 千円を計上した。
- 9) 消費税引き上げによる費用増加として 1,800 千円を計上した。

表 7・1 令和 2 年度正味財産増減予算書

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

(単位: 円)

科 目	令和2年度 A	【参考】平成31年度		増減 D A-B	増減 E A-C
		予算 B	決算 C		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
【特定資産運用益】					
特定資産受取利息	805,500	769,000	804,273	36,500	1,227
退職給付特定資産受取利息	3,000	3,500	3,091	▲ 500	▲ 91
【受取会費】					
正会員受取会費	66,001,300	68,364,900	68,145,474	▲ 2,363,600	▲ 2,144,174
【事業収益】					
編集出版事業収益	12,882,100	13,748,000	12,687,477	▲ 865,900	194,623
研究会事業収益	34,308,000	37,946,000	33,217,549	▲ 3,638,000	1,090,451
表彰事業収益	8,200,000	6,750,000	6,700,000	1,450,000	1,500,000
【受取寄付金】					
受取寄付金	6,290,000	6,690,000	7,347,319	▲ 400,000	▲ 1,057,319
【雑収益】					
受取利息	3,265	3,265	858	0	2,407
雑収益	170,000	220,000	54,000	▲ 50,000	116,000
懇親会参加料収益	4,670,000	4,710,000	4,561,400	▲ 40,000	108,600
経常収益計	133,333,165	139,204,665	133,521,441	▲ 5,871,500	▲ 188,276
(2) 経常費用					
【事業費および管理費】					
編集出版事業費	25,922,481	26,715,231	25,735,967	▲ 792,750	186,514
研究会事業費	33,185,624	34,876,987	27,712,323	▲ 1,691,363	5,473,301
表彰事業費	13,880,777	13,315,157	12,180,096	565,620	1,700,681
給料手当	31,943,412	29,697,333	29,636,135	2,246,079	2,307,277
アルバイト費	2,490,000	2,470,000	2,464,999	20,000	25,001
退職給付費用	2,600,000	2,800,000	2,803,091	▲ 200,000	▲ 203,091
その他人件費 (福利厚生費)	6,140,038	6,030,000	5,923,593	110,038	216,445
会議費	1,335,000	1,335,000	920,834	0	414,166
旅費交通費	3,505,000	3,755,000	3,914,758	▲ 250,000	▲ 409,758
通信費	1,745,515	1,346,000	1,228,437	399,515	517,078
什器備品費	500,000	500,000	842,760	0	▲ 342,760
事務用品・リース費	2,000,000	2,000,000	1,924,117	0	75,883
水道光熱費	290,000	290,000	209,665	0	80,335
事務所賃借料	4,448,400	4,432,263	4,387,740	16,137	60,660
諸謝金	1,200,000	1,200,000	1,210,000	0	▲ 10,000
懇親会費	7,640,000	7,960,000	7,578,591	▲ 320,000	61,409
雑費 (税・手数料・会費・IT)	5,144,500	4,614,500	4,212,363	530,000	932,137
経常費用計	143,970,747	143,337,471	132,885,469	633,276	11,085,278
当期経常増減額	▲ 10,637,582	▲ 4,132,806	635,972	▲ 6,504,776	▲ 11,273,554
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
一般正味財産増減額	▲ 10,637,582	▲ 4,132,806	635,972	▲ 6,504,776	▲ 11,273,554
一般正味財産期首残高	304,697,192	304,061,220	304,061,220	635,972	635,972
一般正味財産期末残高	294,059,610	299,928,414	304,697,192	▲ 5,868,804	▲ 10,637,582
II 指定正味財産増減の部					
【特定資産運用益】野依賞基金					
特定資産受取利息	50	400	39	▲ 350	11
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 4,000,000	▲ 4,000,000	▲ 3,760,267	0	▲ 239,733
当期指定正味財産増減額	50	400	239,772	▲ 350	▲ 239,722
指定正味財産期首残高	6,287,060	6,047,288	6,047,288	239,772	239,772
指定正味財産期末残高	6,287,110	6,047,688	6,287,060	239,422	50
【特定資産運用益】Mukaiyama Award基金					
特定資産受取利息	100	1,000	91	▲ 900	9
受取寄付金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 1,200,000	▲ 1,600,000	▲ 1,597,052	400,000	397,052
当期指定正味財産増減額	▲ 1,199,900	▲ 1,599,000	▲ 1,596,961	399,100	397,061
指定正味財産期首残高	7,261,642	8,858,603	8,858,603	▲ 1,596,961	▲ 1,596,961
指定正味財産期末残高	6,061,742	7,259,603	7,261,642	▲ 1,197,861	▲ 1,199,900
III 正味財産期末残高	306,408,462	313,235,705	318,245,894	▲ 6,827,243	▲ 11,837,432

表 7・2 令和 2 年度正味財産増減予算書内訳表(1 / 2)

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1 編集・出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
1. 経常増減の部							
経常収益計	12,885,100	33,010,500	13,000,000	52,141,027	5,570,039	16,726,499	133,333,165
特定資産運用益	3,000	2,500	800,000	0	0		805,500
編集出版特定資産受取利息	3,000						
研究会特定資産受取利息		2,500					
表彰特定資産受取利息			800,000				
退職特定資産受取利息	0	0	0	0	0	3,000	3,000
受取会費				52,141,027	1,980,039	11,880,234	66,001,300
個人会員費受取会費				27,051,022	1,027,254	6,163,524	34,241,800
法人会員費受取会費				23,147,000	879,000	5,274,000	29,300,000
団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
学生会員費受取会費				1,816,605	68,985	413,910	2,299,500
事業収益	12,882,100	31,918,000	7,000,000	0	3,590,000		55,390,100
編集出版事業収益	12,882,100						12,882,100
会誌事業収益	3,726,000						3,726,000
広告事業収益	8,640,000						8,640,000
別冊事業収益	25,000						25,000
会誌関係雑収益	0						0
単行本印税収益	300,000						300,000
複写権使用料収益	191,100						191,100
研究会事業収益		31,918,000			2,390,000		34,308,000
シンポジウム事業収益		15,680,000					15,680,000
講習会事業収益		11,040,000					11,040,000
懇談会事業収益		4,948,000			240,000		5,188,000
見学会事業収益		250,000			2,150,000		2,400,000
表彰事業収益			7,000,000	0	1,200,000		8,200,000
企業冠賞事業収益			7,000,000	0			7,000,000
研究企画賞事業収益					1,200,000		1,200,000
その他表彰事業収益							0
寄付金収益		1,090,000	5,200,000	0		0	6,290,000
受取寄付金		1,090,000	5,200,000	0			6,290,000
雑収益		0				4,843,265	4,843,265
受取利息		0				3,265	3,265
雑収益		0				170,000	170,000
懇親会参加料収益						4,670,000	4,670,000
経常費用	45,968,752	55,421,090	19,783,801		5,449,404	17,347,700	143,970,747
事業費	45,968,752	55,421,090	19,783,801		5,449,404		126,623,047
編集出版事業費	25,922,481						25,922,481
印刷製本費	12,006,176						12,006,176
用紙費	3,794,990						3,794,990
原稿料・校正費	578,000						578,000
編集費	843,715						843,715
送達費	7,503,500						7,503,500
別冊作成費	270,000						270,000
電子出版費	926,100						926,100
研究会事業費		30,776,624			2,409,000		33,185,624
シンポジウム費		16,426,200					16,426,200
講習会費		7,086,314					7,086,314
懇談会費		3,907,510			259,000		4,166,510
見学会事業費		250,000			2,150,000		2,400,000
研究会会議費		108,600					108,600
事務委託費		2,663,000					2,663,000
支払寄付金		335,000					335,000
表彰事業費			13,824,477		56,300		13,880,777
表彰事業費			2,802,477				2,802,477
企業冠賞費用			5,822,000				5,822,000
研究企画賞費					56,300		56,300
国際賞費用			4,000,000				4,000,000
Mukaiyama Award事業費			1,200,000				1,200,000
給料手当	11,177,000	12,777,365	3,194,341		1,600,365		28,749,071
アルバイト費	968,112	1,106,556	276,639		138,693		2,490,000
退職給付費用	909,740	1,040,000	260,000		130,260		2,340,000
その他人件費（福利厚生費）	2,148,399	2,456,015	614,004		307,616		5,526,034
会議費	195,000	292,500	65,000		32,500		585,000
旅費交通費	588,000	882,000	196,000		98,000		1,764,000
通信費	480,000	720,000	160,000		80,000		1,440,000
什器備品費	150,000	225,000	50,000		25,000		450,000
事務用品・リース費	600,000	900,000	200,000		100,000		1,800,000
水道光熱費	87,000	130,500	29,000		14,500		261,000
事務所賃借料	1,334,520	2,001,780	444,840		222,420		4,003,560
雑費（税・手数料・会費・IT）	1,408,500	2,112,750	469,500		234,750		4,225,500

表 7・3 令和 2 年度正味財産増減予算書内訳表(2/2)

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1 編集・出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
管理費						17,347,700	17,347,700
給料手当						3,194,341	3,194,341
退職給付費用						260,000	260,000
その他人件費（福利厚生費）						614,004	614,004
懇親会費用						7,640,000	7,640,000
会議費						750,000	750,000
旅費交通費						1,741,000	1,741,000
通信費						305,515	305,515
什器備品費						50,000	50,000
事務用品・リース費						200,000	200,000
水道光熱費						29,000	29,000
事務所賃借料						444,840	444,840
諸謝金						1,200,000	1,200,000
雑費（税・手数料・会費・IT）						919,000	919,000
当期経常増減額	▲ 33,083,652	▲ 22,410,590	▲ 6,783,801	52,141,027	120,635	▲ 621,201	▲ 10,637,582
2. 経常外増減の部							
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額							
一般正味財産期首残高							304,697,192
一般正味財産期末残高							294,059,610
当期一般正味財産増減額							▲ 10,637,582
【指定正味財産増減の部】							
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
指定正味財産運用益			50				50
特定資産受取利息			50				50
受取寄付金			4,000,000				4,000,000
一般正味財産への振替額			▲ 4,000,000				▲ 4,000,000
指定正味財産期首残高			6,287,060				6,287,060
指定正味財産期末残高			6,287,110				6,287,110
2. Mukaiyama Award基金							
指定正味財産運用益			▲ 1,199,900				▲ 1,199,900
特定資産受取利息			100				100
受取寄付金							0
一般正味財産への振替額			▲ 1,200,000				▲ 1,200,000
指定正味財産期首残高			7,261,642				7,261,642
指定正味財産期末残高			6,061,742				6,061,742
【正味財産期末残高】							
正味財産期末残高							306,408,462

報告 4 永年会員昇格者

会員規程第 4 条により、満 75 歳で 20 年連続在籍者を令和 2 年度より永年会員とする（入会順；敬称略）。

磯部 稔 松田 勇 藤田 眞作 新海 征治 奈良坂 紘一 宅和 暁男

雲林 秀徳 藤川 義弘 岡田 至 東海林 義和

以上 10 名

その他議案があれば挙手の上ご報告ください。

以上

【参考資料】

付表1 平成31年度決算の構成

(単位：円)

科 目	連結	本部	支部会計				中国・四国	九州・山口
			北海道	東北	関東	東海	関西	
1 I一般正味財産増減の部								
2 1. 経常増減の部								
3 (1) 経常収益								
4 【特定資産運用益】	804,273	804,273						
5 【退職給付特定資産運用益】	3,091	3,091						
6 【受取会費】	68,145,474	68,145,474						
7 【事業収益】	12,687,477	12,687,477						
8 編集出版事業収益	33,217,549	14,461,200						
9 研究事業収益	6,700,000	6,700,000						
10 表紙事業収益	7,347,319	5,357,319						
11 【受取寄付金】	858	551						
12 【雑収益】	54,000	8,000						
13 雑収益	4,561,400	3,105,000						
14 総務会参加料収入								
15 経常収益計	133,521,441	111,272,385	68,032	56	2,833,450	9,259,619	8,168,054	1,062,015
16 (2) 経常費用（事業費・管理費）								
17 編集出版事業費	25,735,967	25,735,967						
18 研究会事業費	24,890,321	6,479,989						
19 事務委託費	2,567,002		101,555	253,782	2,136,318	7,773,007	6,548,193	1,193,728
20 支払寄付金	255,000	75,000	60,000	90,000		293,000	1,803,554	470,448
21 表紙事業費	12,180,096	11,975,401						30,000
22 総務手当	29,636,135	29,636,135				36,090	30,298	115,170
23 アルバイト費	2,464,999	2,464,999						
24 その他人件費	5,923,593	5,923,593						
25 退職給付費用	2,803,091	2,803,091						
26 総務会費	7,578,591	4,529,538						
27 会議費	920,834	500,132						
28 旅費交通費	3,914,758	2,173,268						
29 通信費	1,129,437	1,129,437						
30 什器備品費	842,760	842,760						
31 事務用品・リース費	1,924,117	1,924,117						
32 水道光熱費	209,665	209,665						
33 事務所賃借料	4,387,740	4,387,740						
34 諸謝金	1,210,000	1,210,000						
35 経費	4,212,363	3,884,952						
36 経常費用計	132,885,469	105,885,819	485,745	557,196	3,524,533	8,327,871	10,183,985	2,019,728
37 当期経常増減額	635,972	5,386,566	▲417,713	▲557,140	▲691,083	931,748	▲2,015,931	▲957,713
38 2. 経常外増減の部								
39 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
40 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
41 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
42 3. 内部取引（他会計振替額）								
43 本部会計への繰入額	0	509,000			▲509,000			
44 事務委託費（関東支部会計より）	0	509,000			▲509,000			
45 繰入額計	0							
46 本部会計からの繰出額（支部会計へ）	0	▲6,853,000						
47 支部制当金	0	▲840,000	260,000	499,000	1,771,000	759,000	2,046,000	759,000
48 若手セミナー討論会	0	▲50,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
49 有機合成化学セミナー	0	▲130,438				50,000		
50 新書フォーラム・春シンポジウム配分	0	▲7,873,438						
51 繰出額計	635,972	▲1,977,872	380,000	619,000	130,438	929,000	2,166,000	879,000
52 一般正味財産増減額	304,061,220	271,991,961	▲37,713	61,860	821,355	1,860,748	▲78,713	▲150,069
53 一般正味財産増減率	304,697,192	270,014,089	34,683,103	7,840,969	10,210,658	3,752,606	4,745,431	2,918,777
54 II 指定正味財産増減の部								
55 高砂香料国際賞「野炊賞」基金								
56 【特定資産運用益】								
57 特定資産受取利息	39	39						
58 受取寄付金	4,000,000	4,000,000						
59 一般正味財産への振替額	▲3,760,267	▲3,760,267						
60 当期指定正味財産増減額	239,772	6,047,288						
61 指定正味財産増減率	6,287,060	6,287,060						
62 指定正味財産増減率								
63 Mukaiyama Award基金								
64 【特定資産運用益】								
65 特定資産受取利息	91	91						
66 受取寄付金	▲1,597,052	▲1,597,052						
67 一般正味財産への振替額	▲1,596,961	▲1,596,961						
68 当期指定正味財産増減額	8,558,603	8,558,603						
69 指定正味財産増減率	7,261,642	7,261,642						
70 指定正味財産増減率								
71 III 正味財産増減率	318,245,894	283,562,791	34,683,103	7,840,969	10,210,658	3,752,606	4,745,431	2,918,777